

Ⅲ 【参考】 地域別アクションプラン

1	神戸県民センター	1
2	阪神南県民センター	12
3	阪神北県民局	22
4	東播磨県民局	33
5	北播磨県民局	41
6	中播磨県民センター	51
7	西播磨県民局	63
8	但馬県民局	73
9	丹波県民局	83
10	淡路県民局	99

(1) 定住人口対策

住みたい・住みやすいまちづくりを進め、定住人口の減少抑制を図る。

- ・各区の実情を踏まえ、多様な地域課題に対応する住民主体の地域づくり支援や、自然災害への備え等の地域安全対策に取り組み、安全・安心な地域づくりを推進する。
- ・都市と「農」が隣接する強みを活かし、UJI ターンの受け皿ともなる神戸の農村地域で、農業就業人口確保対策などに取り組み、「人」が賑わう神戸の農村を創出する。併せて、農産物のブランド化、新規販路開拓などを展開し、力強い農林水産業を創生、再生し、地域活性化を促進する。

ア) 住みたい・住みやすい安全・安心な地域づくり

【総括 KPI】

- ・住んでいる地域にこれからも住みたい人の割合
(兵庫のゆたかさ指標) : 80% [H24~26 平均 : 73.0%]

【主な事業】

(1) 市民との協働による神戸づくり

- 神戸地域団体活動パワーアップ事業の実施 (7,000 千円)

地域団体が創意工夫により実施する地域特性を活かした取組を支援する。また、助成期間が終了した県民交流広場で、さらなるコミュニティの活性化に向けた取組を支援する。

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
支援件数	18 件 (H27 年度)	18 件	25 件	25 件

(2) 地域の安全・安心確保事業

- 神戸地域安全応援モデル事業の実施 (4,500 千円)

子どもから高齢者まで、地域の安全・安心を確保するため、地域団体による防犯活動のモデル的な事業に対する助成など、子どもへの声かけや見守り活動の防犯活動を支援する。

ア 地域防犯に向けた県民提案型事業への支援 (活動助成)

イ 地域団体による継続的な防犯活動への支援 (防犯活動用品の支給)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
支援件数	65 件 (H27 年度)	65 件	75 件	75 件

○ 地域安全まちづくり推進員の設置

まちづくり防犯グループの連携・協働を円滑に推進するため、各グループに地域安全まちづくり推進員を設置する。

また、地域安全まちづくり推進員研修会を開催し、推進員や警察等、地域の関係機関と連携した取組を支援する。

○ 客引き行為等の防止による環境浄化推進事業の実施

歓楽街等の環境浄化を目的とした「客引き行為等の防止に関する条例」の周知を図る。併せて、県警や市等との連携のもと、三宮北部地域で巡回・指導を実施する。

(3) 地域の子育て支援

○ まちの子育て広場事業の推進

子育て中の親子が気軽に集い、子育ての悩み等を話し合える「まちの子育てひろば」の運営を支援する。

○ 地域子育て応援ネットの推進

地域団体等がネットワークを組み、子育て家庭への声かけや見守り、子育て相談や子育てイベント等の子育て家庭応援運動を展開する。また、虐待や問題行動等のSOSを見逃さずにキャッチして関係機関につなぐ子育て家庭への支援を関係機関とともに推進する。

(4) 防災・減災への意識向上

○ 土砂災害・浸水被害に備えた減災対策の推進（1,000千円）

防災意識の向上を図っていくため、防災リーダーをはじめ地域住民を対象に、地域で発生する災害の特性や避難行動に役立つ情報を紹介する『出前講座』を各地で開催する。

○ 六甲山の災害展の開催（700千円）

六甲山の災害の歴史を通じて防災意識の向上を図るため、治山・砂防事業のパネル展示や土砂災害警戒区域の周知、降雨体験装置などの実演等を夏休み期間中に実施する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
災害時の避難所と 避難方法を知って いる人の割合	65.8% (H26年度)	66%	67%	70%

(5) 災害に強い地域づくり

○ 総合治水の推進

神戸（表六甲河川）地域等総合治水推進計画に基づき、大雨による洪水からの被害を防止するため、河川整備を推進する。併せて、県営住宅・学校・公園での浸透・貯留施設の整備などの流域対策、防災意識向上のための出前講座の開催や自主的な減災に繋がる手づくりハザードマップ作成の支援などの減災対策に取り組む。

○ 第2次山地防災・土砂災害対策5箇年計画の推進

土砂流出防止、崩壊防止など森林が有する多面的機能を発揮させ、山地災害を防止するため、治山ダム、山腹工（山の崩壊の復旧等工事）や森林整備を実施する。

がけ崩れや土石流から人命、財産を守るため、砂防えん堤や急傾斜地崩壊対策など土砂災害対策を推進する。

○ 災害に強い農村づくりの推進

漏水の発生や堤体の浸食など老朽化の進んだため池の改修工事や、地すべり防止区域において地すべり防止工事等を実施する。

○ 災害に強い森づくりの推進

近年の台風災害等を踏まえ、都市山「六甲山」をはじめ、集落裏山にある里山林の防災面での機能強化を進めるため、スギ・ヒノキ人工林の間伐、危険木の伐採等の森林整備及び丸太柵工や流木止め等の簡易防災施設整備等を実施する。

また、イノシシ等による農作物被害が深刻な農村地域において、人と野生動物との棲み分けを図るバッファゾーンを整備する。

- ・ 緊急防災林整備
- ・ 里山防災林整備
- ・ 野生動物共生林整備
- ・ 都市山防災林整備
- ・ 住民参画型森林整備

(6) 野生鳥獣による生活被害対策

○ 六甲山イノシシ被害対策の推進（4,200千円）

市街地に出没するイノシシからの生活被害や農村地域での農産物被害を軽減するため、防護、捕獲、普及啓発の総合的な対策を実施する。

ア 防護

- ・ 人身被害等の緊急事態に対処する「イノシシ緊急対策協力員」を市内の猟友会支部に配備する。
- ・ 市街地の裏山に設置した侵入防護柵について、地元住民と協働で維持管理を行う。

イ 捕獲

猟期外(4月1日～11月14日)での捕獲や閉鎖空間等に生息する個体の緊急捕獲を行う。

ウ 普及啓発

人身被害が多い地域でのパトロールの実施や防護対策に関する勉強会を開催する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
人身被害 件数	65件 (H26年度)	58件以下	51件以下	30件以下

イ) 神戸の農村地域活性化

【総括 KPI】

- ・ 神戸市内の認定農業者数(※) : 350 経営体 [H25 : 311 経営体]
(※)認定農業者：自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする主体として、市町村が認定した農業者
- ・ 神戸市内の農産物直売所販売額 : 27 億 2 千万円 [H26 : 24 億 7 千万円]

【主な事業】

(1) 力強い神戸の農林水産業の再生

○ 農の神戸ブランド創出作戦 (7,800 千円)

「神戸」の知名度の高さを活かし、農産物等の新たなブランド化を通じ、生産振興を強化する。

ア 神戸ブランド創出作戦

- ・ 商店街や企業等と連携した神戸産農産物等の販売促進や飲食店での創作料理の提供、イベント開催等を支援する。
- ・ 神戸産農産物等を利用した加工品、土産物やギフト商品づくりなど、新商品の企画開発、消費者へのモニタリング調査等を支援する。

イ 有馬山椒復活プロジェクト

観光団体や生産者団体と連携し、古くから「有馬山椒」として親しまれてきた山椒を活用した加工品や創作メニューの開発、山椒の増産体制や技術向上等を支援する。

ウ 農業者の新ジャンルへのチャレンジ支援

青年農業者等が企画する農産物等の加工やパッケージデザインの策定、異業種との連携による新たな販路確保等を支援する。

エ 神戸葉物野菜産地強化プロジェクト

生産者団体による葉物野菜の計画的な出荷の実現、鮮度・機能性等の差別化による産地強化を図るための栽培・流通調査等を支援する。

オ 神戸フルーツ・ジャンプアッププロジェクト

神戸フルーツの付加価値や評価を高め、高品質果実の生産安定を図るため、生産農家の栽培技術の向上、加工技術の導入等を支援する。

カ フォローアップ支援

事業実施者等を対象とした、研修会や情報交換会の開催、商談会への出展等を行う。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ブランド化 等実現件数	-	-	-	8 品目

(2) 新規就農者の育成・確保

○ 新規就農者レベルアッププロジェクトの実施（500 千円）

新規就農者へのセミナーを開催し、新規就農者の経営改善を図るため、専門家等による経営管理技術指導や関係機関との連携による技術修得を支援する。

ア アグリッシュ・アドバンスセミナー

就農後1～2年目の新規就農者を対象に、基本的な栽培技術指導と、関係機関・指導農家とのマッチングを行う。

イ レベルアップセミナー

就農後3～5年目の新規就農者を対象に、栽培・経営管理技術指導やJA施設との連携による実践技術の習得を支援する。また、優れた経営を行う新規就農事例調査を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規就農者 数		50 人	50 人	50 人
	48 人 (H26 年度)			

(2) 交流人口対策

住民が愛着と誇りを持ち、多くの人から訪れたいと思われる、賑わいあるまちづくりを進め、交流人口を拡大する。

- ・まちへの愛着と誇りを高めるため、新たな神戸の地域資源を発掘し、多彩な神戸文化を国内外に発信する楽しいまちプロジェクトに取り組む。
- ・多彩な自然や歴史、文化・芸術など、神戸の観光資源を活かし、まちの賑わいを創出する。

ア) 楽しいまち・神戸プロジェクトの推進

【総括 KPI】

- ・住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合
(兵庫のゆたかさ指標) : 70% [H24~26 平均 : 65.8%]
- ・住んでいる地域に「神戸らしさ」を醸し出す場所があると思う人の割合
(神戸地域力指標) : 55% [H26 : 51.1%]

<以下、神戸市「神戸創生戦略」の観光に係る K P I を設定>

- ・神戸地域の観光入込客数 : 3,900 万人 [H26 : 3,543 万人]
- ・神戸地域の宿泊客数 : 590 万人 [H26 : 508 万人]
- ・神戸地域の外国人観光客数 : 130 万人 [H26 : 74.5 万人]
- ・神戸地域の観光消費額 : 3,700 億円 [3,260 億円]

【主な事業】

(1) とっておきの神戸発信事業の実施

- 「ジャズの街 神戸」推進事業の実施 (2,000 千円)

市民・企業・行政で構成する「ジャズの街神戸」推進協議会の一員として、ジャズを通じた滞在型集客を促進と「ジャズの街神戸」の取組の発信を行う。

ア 六甲山夜景ジャズライブの開催

六甲山のツーリズム振興を図るため、六甲山屈指のビュースポットで夜景も楽しめるジャズイベントを開催する。

イ スインギングナイツ in KOBE事業の実施

滞在型集客の促進を図るため、神戸市等と連携し、市内に多く存在するジャズライブハウスを活用した観光キャンペーンを実施する。

ウ 首都圏イベント開催に併せたPR活動

首都圏向け兵庫県PRイベント等で「ジャズの街神戸ガイドマップ」やイベントチラシを配布し、「ジャズの街神戸」の認知向上と集客促進を図る。

エ 兵庫運河周辺でのジャズライブの開催 (再掲)

同地域において、ジャズイベントを実施し、地域の賑わいを創出する。

オ 「1 DAY JAZZ ROAD」の開催 (再掲)

ジャズミュージシャンによる生演奏やジャズの名盤によるレコードコンサートを実施し、ミュージアムロード一帯の賑わいづくりを図る。

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
イベント 参加者数		1,000 人	1,000 人	1,000 人
	1,000 人 (H27 年度)	1,000 人		

○ 兵庫運河周辺地域の魅力発信 (2,000 千円)

県庁発祥の地でもある兵庫運河周辺地域の近代遺産に焦点をあて、地域団体やNPOなどと連携・協働した新たな地域資源による魅力発信を行う。

ア 兵庫運河周辺地域賑わい創出活動助成

地域団体等が兵庫運河周辺地域の資源等を活用して行う魅力発信や賑わい創出の取組に対し、経費を助成する。

イ 兵庫運河周辺でのジャズライブの開催

同地域において、ジャズイベントを実施し、地域の賑わいを創出する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度 (目標)	H28 年度 (目標)	H31 年度 (目標)
イベント 参加者数		—	5,000 人	5,000 人
	—	—		

○ ミュージアムロード周辺地域の賑わい創出 (3,000 千円)

灘区と中央区にまたがるミュージアムロード周辺地域全体の活性化を促進するため、地域団体等が主体的に行う賑わい創出活動への助成やジャズイベントの開催を行う。

ア ミュージアムロード周辺地域賑わい創出活動助成

地域団体等が協働して行うミュージアムロード及びHAT神戸周辺地域の資源を活用した魅力発信や賑わい創出の取組に対し、経費を助成する。

イ 「1 DAY JAZZ ROAD」の開催

ジャズミュージシャンによる生演奏やジャズの名盤によるレコードコンサートを実施し、ミュージアムロード一帯の賑わいづくりを図る。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ミュージアムロ ード周辺でのイ ベント参加者数		3,800 人	4,000 人	4,000 人
	3,800 人 (H27 年度)	3,800 人		

○ ラジオによる首都圏への情報発信 (3,000 千円)

神戸の資源を活かしたツーリズム振興の強化及び交流人口の拡大を図るため、とっておきの神戸の魅力・情報(街、ひと、自然、歴史等)を首都圏のラジオで発信する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
情報発信件数		12 件	20 件	20 件
	12 件 (H27 年度)	12 件		

(2) 近代化産業遺産等による地域の活性化

○ 湊川隧道の利活用推進 (1,500 千円)

わが国最初の近代河川トンネルとして、明治 34 年(1901 年)に竣工した近代土木遺産である湊川隧道の定期一般公開等を行う。

ア 定期利活用の促進

- ・ 定期一般公開 (毎月第3土曜日、公開及びミニコンサート)
- ・ 新湊川ウォーク (土木の日イベントとして湊川隧道の通り抜けを実施)

イ SNS等を活用した情報発信

NPO法人と連携を図り、SNS等で広く情報発信する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
湊川隧道入 場者数	2,600 人 (H26 年度)	2,900 人 3,107 人	3,000 人	4,000 人

○ こうべ水の恵みウォークの実施 (1,000 千円)

日本の疏水百選・かんがい施設遺産に選定・登録された淡河川・山田川疏水(淡山疏水)を知り、親しんでもらうため、ウォーキング大会を開催する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数	83 人 (H27 年度)	83 人 83 人	100 人	100 人

(3) 六甲摩耶・有馬のツーリズム振興

○ 六甲山夜景ジャズライブの開催 (再掲)

六甲山のツーリズム振興を図るため、六甲山屈指のビュースポットで夜景も楽しめるジャズイベントを開催する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数	160 人 (H27 年度)	160 人 160 人	200 人	200 人

○ 六甲山自然保護センターの運営・機能強化 (6,800 千円)

ア 六甲山自然保護センターの運営

- ・ 「山の案内人」への支援

六甲山の自然などについて案内するガイドボランティア「山の案内人」の活動を支援する。

- ・ コーディネーターの配置

六甲山の自然などに関する情報の発信、環境団体等との情報交換やその活動支援を行うためのコーディネーターを配置する。

イ 六甲山自然保護センターの機能強化

六甲山地区への外国人観光客増加をうけ、ビジターセンターとしての役割を持つ六甲山自然保護センターの機能を強化し、来訪・再訪を促進する。

- ・ 外国人向け多言語パネル等の設置、「KOBE Free Wi-Fi」の環境整備
展示物等の多言語化や、「KOBE Free Wi-Fi」導入による観光案内等の無料提供により、外国人観光客の利便性を向上する。
- ・ 「山の日」(8月11日)記念「六甲山コレクション展(仮称)」の実施
山の日(8月11日)の国民の祝日施行を記念し、六甲山の魅力と歴史に関する展示を充実する。

○ 六甲山・摩耶山の各種イベント支援等 (1,330 千円)

ア シム記念摩耶登山マラソンの開催への支援

摩耶山の知名度と魅力の向上をめざして、地域団体等が開催する「シム記念摩耶登山マラソン」を支援する。

イ 摩耶古道自然観察ウォークの実施

古くから登山者等に利用されてきた摩耶古道を活用し、「山の案内人」等のガイドのもと、摩耶山の魅力と豊かな自然にふれ合うウォーキングを実施する。

ウ 六甲山ウィンターフェスティバル開催への支援

冬期の六甲山の集客を促すため、六甲山ウィンターフェスティバル実行委員会が開催する冬のイベント「六甲山・摩耶山の冬あそび」を支援する。

エ 六甲山・摩耶山の観光PR

六甲山観光ガイドマップの作成や、六甲摩耶・有馬プロモーションの実施など、六甲摩耶観光推進協議会の取組に参加する。

〈内容〉 阪急西宮北口駅等でのPRツールの配布等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
六甲・摩耶の観光 入込客数※	193 万人 (H26 年度)	230 万人	230 万人	230 万人

※神戸市「神戸創生戦略」の KPI を設定

○ 有馬川親水広場の魅力向上 (10,000 千円)

温泉街の玄関口となる有馬川親水広場について、近年増加する外国人を含むすべての観光客に対して、安全対策の充実や、より魅力ある空間となるよう施設整備を進める。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
有馬温泉の観 光入込客数	72 万人 (H26 年度)	—	—	80 万人

(4) アグリツーリズム振興

- 神戸アグリツーリズム振興（神戸アグリインバウンド推進プロジェクト）（5,000 千円）

神戸産の農産物の価値等を海外に発信し、観光農業の振興、加工品等の生産拡大、及び交流人口の拡大を一体的に推進するため、西区でのいちご、ぶどう、梨などの地域資源を活用し、農業体験・食体験を中心とした体験型インバウンドを推進する。

〈内容〉外国人観光客動向調査、観光農園のインバウンド環境整備、インバウンド向け特産品開発等

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数	—	—	—	500 人

(5) 神戸の魅力・元気の発信

- 神戸の魅力づくり事業の実施（6,000 千円）

地域経済の活性化を図るため、観光関連団体や地場産業組合等が実施する集客・交流イベントを支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
支援イベント 参加者数	23 万人 (H27 年度)	23 万人	25 万人	25 万人

- 神戸・五国交流事業（5,000 千円）

交流人口の拡大や地場産業等の振興を図るため、神戸と県内各地域の人・もの・情報が交流するイベントの開催を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
支援イベント 参加者数	—	—	3,000 人	3,000 人

- 神戸をアピールする大型集客イベントへの参画・支援

- ア 神戸まつりへの参画（800 千円）

「神戸まつり」のメイン行事「おまつりパレード」に参画し、県政のPRを行うなど、祭りの開催を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
イベント 参加者数	143 万人 (H27 年度)	140 万人	140 万人	140 万人

- イ Kobe Love Port みなとまつりへの支援（300 千円）

神戸青年会議所等が中心となって行う「みなとまつり」の開催を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
来場者数	24 万人 (H27 年度)	24 万人	25 万人	25 万人

ウ 神戸マラソン舞子事業の実施（500 千円）

「神戸マラソン 2016」開催時に、折り返し地点である県立舞子公園で、応援に集まる多くの人に、神戸県民センターの取組を紹介する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
舞子公園当日 来場者数		6,500 人	6,500 人	6,500 人
	6,500 人 (H27 年度)	6,500 人		

エ 神戸ルミナリエの開催支援（25,000 千円）

都市の復興・再生への夢と希望を託す神戸ルミナリエの継続開催を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
来場者数		300 万人		
	325 万人 (H27 年度)	325 万人		

※H28 年度以降の目標は、各年度神戸ルミナリエ組織委員会・実行委員会合同会議で設定

○ 神戸繁昌亭（仮称）の設立支援（5,000 千円）

神戸新開地の地域再生を進めるまちづくり団体等が取り組む、定席の寄席（「神戸繁昌亭」（仮称））の設立に対して、神戸市とともに支援する。

阪神南県民センター地域創生アクション・プラン

県民をはじめ、企業、各種団体、市、県民センターなど、様々な主体が互いに連携しながら、自ら主体的に行動することで「安心して暮らせる阪神南地域の実現」をめざす。

ア) 安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる

多くの若者が阪神南地域に転入する一方で、乳幼児や学童期の児童とその親の世代の転出が顕著であることから、地域や企業と一体となった子育て支援などにより、若者が定着し、安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる。

【総括 KPI】

・ 0～14 歳及び 30～39 歳の転出超過人数：H32：420 人（半減） [H26：846 人]

【主な事業】

(1) 若者・女性の雇用・就業支援

○ 若者ものづくり人材確保支援事業(1,660 千円)

高校生・大学生を対象に、ものづくりの面白さに触れる機会を提供する。

・ 就業体験バスツアーの実施

◇対象者：高校生・大学生(20～40 人×10 回)

◇内 容：管内企業(高校生 1 社、大学生 2 社)の製造現場を見学

・ ものづくり出張セミナーの開催

◇対象者：高校生(50～100 人×5 回)

◇内 容：熟練技術者による出張講話

・ 産業用ロボットセミナーの開催

◇対象者：高校生(25 人)

◇内 容：ロボットの作業デモンストレーション見学及び講義、高校生による新用途のアイデア発表(計 2 日間)

◇場 所：尼崎サーチインキュベーションセンター 他

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
バスツアー、セミナー 参加者数	725 人 (平成 26 年度)	800 人/年	1,300 人/年	1,300 人/年

(2) 出会いの機会づくり

○ 出会いサポートセンター運営

少子化の要因である晩婚化・未婚化への対策として、出会い・結婚を応援するための事業を展開

・ 設置場所：尼崎市中小企業センター 6 階

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
成婚組数 (累計)	11 組 (H26 年度)	16 組	32 組	80 組

(3) 地域や企業と一体となった子育て支援

○ 森の子育てひろば事業 (400 千円)

都市部に暮らす未就学児の親子が自然の中でのびのび子育てができる機会を提供

- ・ 森を活用した遊び、森の探検、環境学習、森の遊具の設置 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加(交流) 親子数	30 組 (平成 27 年度)	30 組	70 組	190 組

○ まちの子育て広場事業(1,960 千円)

子育て中の親子が気軽に集い、仲間づくりを通して子育ての悩みを話し合い、情報交換ができる場づくりを推進

- ・ ひろばアドバイザーの派遣 (150 回)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
アドバイザー派 遣回数	76 回 (平成 26 年度)	152 回/年	152 回/年	152 回/年

○ 青少年健全育成活動の実施

青少年が豊かな感性を育み、たくましく成長することをめざし、親子の交流や自然とのふれあいの中で、多様な体験ができる活動の機会を提供

- ・ 親子ふれあい いきいきわくわく野球観戦
- ・ 小学生のスナッグゴルフ大会
- ・ 親子ふれあい事業

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数 (累計)	417 人 (平成 26 年度)	650 人	1,300 人	3,250 人

○ 青少年スポーツ文化体験教室の実施(800 千円)

小・中学生とその家族にスポーツ体験や芸術鑑賞を行う機会を提供

- ・ 施設：県立海洋体育館、尼崎スポーツの森、県立尼崎青少年創造劇場(ピッコロシアター)、県立芸術文化センター
- ・ 内容：スポーツ体験・芸術鑑賞(計 4 回)
- ・ 参加者：小・中学生の親子 550 人

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数	—	—	550 人	—

イ) 安全・安心で住みやすい地域をつくる

近い将来の発生が懸念される南海トラフ巨大地震などの自然災害から住民の安全を守るため、防災・減災対策に取り組むとともに、ひたたくり防止などの防犯対策や自転車の安全対策に取り組むほか、地域の担い手の確保、ふるさと意識の涵養、文化・スポーツの振興などにより、日本一安全・安心で住みやすい地域をつくる。

【総括 KPI】

- ・ 東京都への転出超過数：H32：668 人（半減） [H26：1,336 人]
- ・ 住んでいる地域にこれからも住み続けたい人の割合：H32：90%以上 [H26：76%]
- ・ 災害の備えが確かなものと思う人の割合：H32：50%以上 [H27：31.8%]

【主な事業】

(1) 防災・減災対策の充実

- 阪神南縣市合同広域防災訓練（200 千円）

南海トラフ地震発災時の連携体制を強化するため、管内 3 市等と合同訓練を実施し、今後内容の拡充を図る。

- ・ 実施時期：9 月中下旬
- ・ 訓練内容：図上訓練（災害対策本部の運営、テレビ会議等）（合同）
実動訓練（防潮堤閉鎖、河川など被害調査、広域防災拠点開設等）
シェイクアウト訓練（合同）

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加市町数	—	—	3 市	7 市 1 町 (阪神全域)

- ニロック防災展示室の一般開放

学校の休日を利用し、親子で防災意識の高揚を図るため、事前予約なしで見学できる一般開放を実施する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加人数	272 人 (H26 年度)	300 人/年	300 人/年	300 人/年

- 防災・減災学習会、出前講座の開催

防災・減災に対する知識を養うため、自治会、企業等からの要請を受けて開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加人数	1,088 人 (H26 年度)	1,000 人/年	1,000 人/年	1,000 人/年

(2) 防犯対策の強化

○ 「走る防犯の目」の推進 (2,300 千円)

街頭犯罪の抑止力を高めるため、業界・事業所団体や地域団体、市、警察等と連携した防犯活動を推進する。

- ・「走る防犯の目」ステッカーの自動車等への貼付
- ・走る防犯カメラの公用車への装着

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ひったくり犯 罪件数	220 件 (H26 年度)	195 件/年	170 件/年	100 件未満/年

○ ひったくり防止キャンペーン事業 (2,250 千円)

ひったくり防止を啓発するため、管内市、警察署、防犯協会等と連携したキャンペーンを実施する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
実施回数	12 回 (H26 年度)	12 回/年	20 回/年	20 回/年

(3) 自転車安全対策の充実

○ 高校生による自転車運転マナーアップフォーラム (750 千円)

高校生の事故率が高いことから、交通安全意識の向上をめざし、高校生が自主企画するフォーラムを開催する。

- ・開催時期：平成28年10月
- ・内 容：ワークショップ、交通安全宣言、宣言カードの全生徒への配布

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
自転車関係事 故件数	1,792 件 (H26 年度)	1,612 件/年	1,432 件/年	900 件未満/年

○ 自転車運転マナーアップキャンペーン (640 千円)

交通マナーの向上を図り、自転車関係事故を減らすため、管内の市、警察署、交通安全協会等と連携したキャンペーンを実施する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
実施回数	12 回 (H26 年度)	12 回/年	24 回/年	24 回/年

○ 路面ピクトサインの設置 (5,000 千円)

歩行者と自転車との事故減少を図るため、自転車通行可の歩道路面に安全な通行に資するサインを設置

- ・スケジュール：平成28年度上半期に試行・検証（3路線約2km）
下半期から本格実施

- ・試行箇所：昭和東本町線（尼崎市）、西宮港線（西宮市）
芦屋鳴尾浜線（芦屋市）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
設置延長 (累計)		—	約 6km	約 24km
	—	—		

(4) 快適な生活環境づくり

- 尼崎運河水質浄化プロジェクト（1,500 千円）

尼崎運河の水質浄化施設・キャナルベースにおいて、市民団体等が自主的に取り組む活動を支援するとともに、徳島大学と共同で水質浄化の研究を実施

- ・運河博覧会、オープンキャナルデイ、徳島大学との共同研究

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
キャナルベース(水 質浄化施設) 利用者数 (累計)		2,000 人	4,500 人	12,000 人
	2,551 人 (H26 年度)			

(5) 地域活動の担い手の確保

- 阪神南地域ビジョンの推進(2,309 千円)

「阪神市民文化社会ビジョン」の実現を目指し、阪神南地域ビジョン委員会が地域活動団体等と連携して取り組む多彩な実践活動を支援

- ・委員の委嘱：平成 28 年 4 月～平成 30 年 3 月の 2 年間 73 名に委嘱
- ・活動拠点：「ビジョン交流プラザ」を提供
- ・経費補助：グループ活動・広報活動への経費補助
- ・夢会議開催：ビジョン委員会と阪神南県民センターの共催により、地域住民と地域の夢や課題を語り合う会議を開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
一般参加型イ ベント回数		15 回/年	20 回/年	25 回/年
	17 回 (H26 年度)			

- こころ豊かな人づくり500人委員育成事業

“こころ豊かな美しい兵庫”の実現に向けて、時代を担う青少年の育成活動の担い手を養成

- ・受講期間：2年間(H27～H28)
- ・内容：講演、セミナー、フィールドワーク等
- ・委員数：15人(平成27年12月31日現在)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
修了者数 (累計)		—	10 人/年	25 人/年
	3 人 (H26 年度)	—		

※2カ年(H27～H28)で修了のため H27 実績なし

○ 大学生による地域づくり活動への支援(3,023千円)

大学生の若い感性を活かした地域活性化を図るため、大学生が地域団体や事業者と連携して実施する地域づくり活動を支援する。

・活動助成

◇支援対象：学生と地域団体、事業者等との連携による地域活性化事業

◇実施主体：阪神地域の大学・短期大学のゼミ、研究室、大学生による地域づくり活動を実施するNPO等

・阪神つながり交流祭の開催

活動事例・成果の発表や活動団体間の情報交換などを行う阪神つながり交流祭を開催する。

◇開催時期：平成28年12月 ◇開催場所：管内大学施設

◇参加者：活動団体(助成対象以外も含む)、地域団体、事業者、行政関係者 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
活動助成 団体数	4団体 (H26年度)	4団体/年	4団体/年	4団体/年

(6) ふるさと意識の涵養

○ 尼崎の森ファミリークラブ (600千円)

森づくり活動をこどもの成長とともに家族で体験することにより、森への愛着や家族愛、ふるさと意識の醸成するとともに、森づくりの担い手を育成

・対象：小学生から中学生までの子どもとその家族

・内容：小学生入学時に森づくり作業を行う家族として登録

子どもの成長の節目に合わせた森づくり作業の体験、特別イベントへの招待
全工程参加者に活動記録集を贈呈

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
登録家庭数 (累計)	—	—	30組	150組

○ 「ココロンカード」スタンプラリー(1,000千円)

阪神南地域の個性あふれる施設の利用を通じて地域の財産を知り、ふるさと意識の醸成につなげるため、「ひょうごっ子ココロンカード」対象施設等のスタンプラリーを実施

・実施方法：一定数以上の施設を回った者に記念品(例：はばタン・缶バッジ等)を贈呈
対象者：小・中学生

・対象施設：28施設 コロンカード対象施設：21施設

その他(尼ロック、地すべり資料館、芸文センター等)：7施設

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
達成者数	—	—	10人/年	10人/年

○ 提案型ふるさとづくり協働事業 (4,100千円)

地域課題にきめ細やかに対応し、「安心して暮らせる阪神南」を実現するため、各種団体が県民センターと協働で企画・実施する事業に対し助成

- ・対象団体：阪神南地域を活動基盤とする支援団体
- ・テーマ例：文化・スポーツの振興、環境の保全と創造、地域産業の活性化、安全で安心な社会の実現、青少年の健全育成 等
- ・助成内容：助成件数 20 件程度
助成金額 上限 20 万円（1 件あたり）
助成率 助成対象経費の 2/3 以内

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
補助件数	4 件 (平成 27 年度)	20 件/年	20 件/年	20 件/年

(7) 文化・スポーツの振興

○ 阪神南ふれあいスポーツフェスタの開催（9,000 千円）

スポーツの森開設10周年記念行事として、尼崎市市制100周年記念「あまがすきハーフマラソン大会」と連携したスポーツ体験等のイベントを開催

- ・日 時：平成28年10月16日（日） 9：00～19：00

（「あまがすきハーフマラソン大会」と同日開催）

- ・場 所：尼崎の森中央緑地（尼崎スポーツの森、大芝生広場）

- ・実施内容：スポーツの森スケート場無料開放、プロラグビー選手によるラグビー教室、ちびっこ水球大会、ジュニア選手によるアイスショー、フィナーレ（打ち上げ花火） 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
入場者数	—	—	10,000 人	—

○ 阪神南リレーミュージアムの開催（1,500 千円）

阪神南地域の豊かな文化を発信するため、管内の博物館・美術館が連携して阪神南ゆかりの共通テーマで展覧会を実施

- ・共通テーマ：『阪神南ゆかりの作家をたずねて』
- ・参加施設：尼崎市総合文化センター、近松記念館、西宮市大谷記念美術館、西宮市立郷土資料館、谷崎潤一郎記念館、富田碎花旧居、虚子記念文学館
- ・その他：共通チラシ・ポスターの作成・広報
地域 SNS 「あにあん倶楽部」等での情報発信
バスツアーによる集客支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
実施期間中の 来館者数	—	—	5,000 人	—

ウ) 新たな成長を生み出す産業力・技術力を高める

全国有数のものづくり産業の集積地としての強みを生かし、イノベーションの促進と雇用の創出を図るため、企業のネットワークを生かした付加価値の高いものづくり産業の発展を促すとともに、新たな起業による担い手の増加や中小企業の新事業展開、まちなか再生に向けた商店街の活性化を図る。

【総括 KPI】

- ・市町内総生産（実質）：3兆9,064億円（10%以上増加）（H30）〔H25：3兆5,513億円〕
- ・開業率：3.3%（H18～21期並に増加）（H29～32期）〔H21～24期：2.4%〕

【主な事業】

(1) 起業しやすい環境づくり

- 若者向け創業セミナーの開催(1,500千円)

中高年に比べて低調な若者世代の創業を促進するため、市の創業支援窓口と連携して、大学生など若者を対象に、創業に関するセミナーを開催する。

- ・一般向け創業セミナーの開催

◇対象者：創業に関心のある10～20代の若者（県内在住又は県内大学在籍）

◇内容：学生時代に創業した企業家の講演、創業支援制度の説明等（2時間×1回）

◇開催場所：尼崎市

- ・創業志望者向け創業講座の開催

◇対象者：創業を志す10～20代の若者（県内在住又は県内大学在籍）

◇内容：経営に関する知識、企業家との意見交換、ビジネスプランの作成（4時間×3～4回）

◇開催場所：尼崎市

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
セミナー等の 若者の参加者 数	—	—	60人/年	60人/年

(2) 新事業展開への支援

- 阪神南リーディングテクノロジー実用化支援事業(4,700千円)

優れたものづくり中小企業の中から、先端的なテクノロジーを発掘・選定し、実用化に向けて支援する。

- ・戦略産業雇用創造研究

（一財）近畿高エネルギー加工技術研究所（AMPI）と阪神南リーディングテクノロジー（LT）企業が共同して行うロボットを活用した加工技術（溶接、切断等）の高度化を支援

- ・実用化支援研究

AMP I と LT 企業間の連携による新たな技術開発・製品実用化を支援
（H19～27：計99社）

◇補助率：2/3以内

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
LT新規認定 企業数	13社 (H26年度)	13社/年	13社/年	13社/年

○ 産業フェア等への出展支援(4,500千円)

管内ものづくり中小企業の販路開拓を支援するため、阪神南 LT 実用化支援事業の認定企業等を対象に、産業フェア等への出展を支援する。

- ・国際フロンティア産業メッセへの共同出展
- ・県外の大規模展示会へ出展支援
- ・商工会議所等が主催する産業フェア等への出展

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
出展支援企 業数	19社 (H26年度)	19社/年	19社/年	19社/年

(3) 商店街の活性化

○ 大学生による商店街活性化への支援(500千円)

大学生の若い感性を活かした商店街の活性化を図るため、大学生が商店街と連携して実施する活動を支援する。

- ・活動助成

◇支援対象：学生と商店街等との連携による商店街活性化事業

◇実施主体：阪神地域の大学・短期大学(サテライトがある大学も含む)のゼミ、研究室、大学生による地域づくり活動を実施する NPO 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
活動助成 団体数	—	—	2団体/年	2団体/年

(4) にぎわいの創出

○ IWCと連携した日本酒振興イベントの開催(7,000千円)

世界最大の酒類品評会である IWC (インターナショナル・ワイン・チャレンジ) の日本酒部門の審査会開催にあわせて、地元団体が実施する日本酒振興イベントを支援する。

- ・日 時：5月14日(土)～15日(日)
- ・場 所：西宮神社及び周辺施設
- ・実施内容：大道芸など各種イベント、飲食・販売・展示ブースの出店

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
イベント参 加者数	—	—	20,000人	—

○ 「あにあん倶楽部」による魅力発信(11,296千円)

地域情報総合ポータルサイト「あにあん倶楽部」を運営し、尼崎、西宮、芦屋という個性あふれる3都市を抱える阪神南地域の魅力や特色を発信する。

- ・あにあん倶楽部の運営

- ・ SNS を活用した情報発信
- ・ あにあんフォトコンテストの開催
- ・ 阪神南再発見モニターツアーの開催 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
「あにあん倶楽 部」会員数 (累計)		2,200 人	2,700 人	4,000 人
	—			

(1) 人口対策

阪神北地域は、良好な住環境を求めて人々が集まり、都市部が成長してきた一方、日本一の里山などの豊かな自然を保全・活用して、個性的で魅力ある生活空間を形成してきたが、成長社会から成熟社会へ移行する中で、オールドニュータウン問題の顕在化や地域の活力低下等が懸念されている。このため、安心して子どもを産み育て、生活することができる環境の充実、地域の経済活動を担う交流人口の増加や居住者の維持を図るため、良好な住環境を活かした地域の活性化、都市近郊の優位性を活かした就農人口等の増加、暮らしやすさ等を活かした人口対策の展開に取り組んでいく。

ア) 良好な住環境を活かした地域の活性化

【総括 KPI】

- ・ニュータウン移住世帯数累計 750 世帯

【主な事業】

- 阪神北地域の特徴である良好な住環境のアピール

- ・「ひょうご北摂ライフ」アピール事業 (22,000 千円)

地域外からの転入者を増やすため、管内市町や民間事業者と連携し、PR イベントの開催やポータルサイトの開設により、“ひょうご北摂ライフ”の魅力を広く発信

- ◇キックオフイベントの開催

時期：平成 28 年秋

場所：大阪駅周辺

- ◇ポータルサイトの開設

住環境の豊かさや里山等の地域資源、各市町子育て施策等の魅力を発信する“ひょうご北摂ライフ”PR ポータルサイトを開設

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ホームページアクセス件数	—	—	2,500 件/年	5,000 件/年

- 地域による団地再生に向けた検討を支援

- ・郊外型住宅団地再生コーディネーター派遣事業

地域住民の団地再生への機運を高めるため、専門のコーディネーターを派遣

- ・再生計画策定等支援事業

団地再生へ向けた検討や計画策定を目的に、専門のコンサルタントに委託する場合に、その経費の一部を補助

イ) 都市近郊の優位性を活かした就農人口等増加方策の展開

【総括 KPI】

- ・新規就農者数累計(H21～32) 100人 (H27.3末現在71人)

【主な事業】

- 阪神農産物パワーアッププロジェクト (6,090千円)

若手農業者等に対するハウス等導入の助成、農大生や農業高校生に対するインターンシップや特別講義の実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
ハウス等導入助成件数	—	8件/年	8件/年	8件/年

- 農業施設貸与事業

新規就農者等へ設備等をリースまたは賃貸し、就農開始時に負担となる初期投資の軽減と設備保有リスクを軽減

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
貸与件数	—	1件/年	1件/年	1件/年

- 青年就農給付金

新規就農者の就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後(5年以内)の新規就農者に定額の給付金を給付

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
給付件数	3件 (H26年度)	3件/年	3件/年	3件/年

ウ) 暮らしやすさ等を活かした人口対策の展開

【総括 KPI】

- ・阪神北地域人口 年少人口 H31: 93,122人 (H22: 104,747人)
生産年齢人口 H31: 431,069人 (H22: 463,201人)

【主な事業】

- 阪神北地域優良企業合同説明会の開催 (8,000千円)

首都圏において地元優良企業の説明会開催や UJI ターンを望む保護者への情報提供を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
参加企業数	—	—	30企業/年	30企業/年

○ 阪神北の未来の親世代応援事業（2,000千円）

未来の親世代が、これからのライフステージに夢を持って進んでいくための取組に対する支援を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
助成件数	—	—	10件/年	10件/年

○ 阪神北出会いサポートセンター事業の推進

少子化の大きな要因である「未婚化・晩婚化の進行」に対する取組として、社会全体で結婚を支援するため、出会いイベント・個別お見合い紹介等を通じて独身男女の出会い・結婚を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
成婚カップル数	11件/年	10件/年	10件/年	10件/年

○ 留学生による地域内国際交流・魅力発見への支援（650千円）

留学生と地域団体等が連携しながら、文化を相互理解し、地域の国際化を視点とした地域の活性化や留学生の県内に就職・定着につながる取組に対して支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
支援件数	—	—	3件/年	3件/年

(2) 地域の元気づくり

阪神北地域では、日本一の里山や猪名川・武庫川などの豊かな自然が、成熟した都市基盤と近接、共生し、個性的で魅力ある生活空間を形成してきた。この自然環境の恵みを持続的に享受し、地域の将来を託す青少年や子どもたちに引き継いでいくため、重要な地域資源である北摂里山を活かした施策を展開し、魅力にあふれた地域づくりに取り組む。

また、阪神北地域経済の活性化を図るとともに、まちのにぎわいづくりや交流人口の増加、都市近郊の優位性を活かした農林業の振興を図るため、産業の高度化やブランド化、新たな雇用創出、当地域の有する多彩な魅力の県内外・国内外への情報発信、地域の特色を活かした阪神アグリパーク構想の推進等により、地域の活力をより一層高めていく。

ア) 北摂里山博物館（地域まるごとミュージアム）の新展開

【総括 KPI】

- ・北摂里山への来訪者数 1,470 千人（H26：1,400 千人）

【主な事業】

- 「ひと・さとウォーク」「北摂里山ウォーク」の開催（2,150 千円）

都会近くに残された管内の里山をはじめとするこの地域一帯の自然の魅力を多くの来訪者を楽しんでもらうため、ハイキングイベントを開催

- ◇「ひと・さとウォーク」（鉄道事業者開催で管内の北摂里山に関連するもの）

時期：平成 28 年 5 月～平成 29 年 3 月

- ◇「北摂里山ウォーク」（県民局が企画、北摂里山博物館運営協議会が主催）

時期：平成 28 年 12 月 10 日（土）

内容：・コース…能勢電鉄日生中央駅～内馬場の森～雨森山～龍化吊橋
～一庫公園～知明りんどう橋～新光風台・しらかば公園
・「里山ヘルシーウォークプログラム」を実施

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
里山ウォーク参加者数	—	1,000 人/年	1,000 人/年	1,000 人/年

- 新名神 I C から北摂里山街道に誘うウエルカムロードの整備促進（9,000 千円）

平成 28 年度末供用開始が予定されている新名神高速道路の川西 I C と宝塚スマート I C（いずれも仮称）から北摂里山街道へ来訪者を誘導するため、接続する県道において、案内標識や P R 拠点の設置、沿道の緑化を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
整備箇所数	—	—	11 箇所/年	—

- 「新宮晋 風のミュージアム」アートコラボ事業の実施（8,000 千円）

県立有馬富士公園内の「新宮晋 風のミュージアム」を演劇や音楽など多様な文化活動を展開する舞台として活用することにより、公園の新たな魅力情報を発信

◇春のイベント

「いちごエクスプレス(仮称)」開催(新宮晋「いちご」絵本出版40周年記念)

時期:平成28年5月14日(土)

内容:絵本「いちご」に因んだ劇の公演、地産地消の食に関するトークイベント等

◇秋のイベント

◇パークイルミネーション in さんだ

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
イベント 参加者数	—	1,000人/年	1,000人/年	1,000人/年

○北摂里山PRキャンペーンの開催(8,720千円)

北摂の里山に興味を持ち、足を運んでもらえる人を増やすため、ラジオ等のマスメディアを活用したPRを展開

・親子里山イベントの実施、交通広告の実施 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
里山来訪者 数	1,400千人 (H26年度)	1,470千人/年	1,470千人/年	1,470千人/年

○「北摂 SATOYAMA 国際セミナー」の開催(2,000千円)

国内外への北摂里山の魅力の発信の強化と、持続的な保全に向けた取組みや現代社会における新たな里山の利活用を進めるため、国内外の活動団体を招聘してセミナーを開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
参加者数	—	100人/年	100人/年	100人/年

○皿池湿原天然記念物化への支援(1,500千円)

丸山湿原群に並ぶ規模と生物多様性を誇る皿池湿原について、貴重な生態系の維持や魅力の発信、環境学習の推進を図るため、地元三田市と共同で天然記念物化を促進する事業を展開

○北摂産ほだ木復活大作戦の展開(1,000千円)

全国的なしいたけ原木(ほだ木)不足や、里山景観の維持保全に対応するため、阪神北地域のほだ木の生産強化及び域内外への供給を目指し、生産・流通の現状を調査・分析し、今後の課題や対応策を検討

○猪名川町によるペレット製造事業への支援(3,000千円)

里山資源の地域内での循環利用及び里山の保全を図るため、猪名川町による木質バイオマス資源からペレットを製造する施設整備を支援

イ) 阪神アグリパークによる都市農業の魅力アップ

【総括 KPI】

- ・拠点施設入込者数；2,400 千人（H26：2,333 千人）

【主な事業】

- 阪神アグリな100発信プロジェクト（840 千円）

阪神地域の「農」や「食」に関わる魅力的なスポット、農畜林産物、人物を“阪神アグリな100”として情報を発信

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
発信総数 (累計)	—	100 件	100 件	100 件

- 阪神ファーマーズまちなかマルシェプロジェクト（1,960 千円）

都市農業フェア（平成 27 年度実施）を関係者の自主的運営による継続的なマルシェに発展させるため、専門家を交えてマルシェを試行的に実施しながら、運営の仕組みを構築

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
マルシェ等 の開催回数	—	2 回/年	2 回/年	2 回/年

- 阪神アグリ街道周遊プロジェクト（700 千円）

阪神地域の「農」や「食」の拠点を結ぶ「阪神アグリ街道」開設に向け、旅行業者を招へいして周遊の拠点施設等の視察を実施し、旅行商品化を図るとともに、県民が自由に周遊できるコースとして情報を発信

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
マイトリップモデル コース数(累計)	—	—	2 コース	8 コース

- 阪神版市民農園・観光農園拡充プロジェクト（1,470 千円）

開設者に対する講習会を開催、施設整備を助成

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
施設整備助 成件数	—	4 件/年	4 件/年	—

- 阪神農家×事業者マッチングプロジェクト（1,260 千円）

県民が阪神地域の「農」や「食」に触れる機会を増やすため、食関連等事業者（シェフ、パティシエ）と阪神地域の農業者とのマッチング、阪神地域の農畜林産物を利用した新たな商品や料理メニュー開発等を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新商品開発 支援件数	—	8 件/年	8 件/年	8 件/年

ウ) 阪神北地域の新しい魅力アップ

【総括 KPI】

- ・観光客入込者数 18,000 千人 (H26 : 16,620 千人)

【主な事業】

- 管内市町の新たな観光資源を発掘するとともに観光情報のパッケージ化を行う広域的観光 P R 等事業の実施 (500 千円)

- ・観光パンフレット「北摂きらっと☆まち歩き」の作成・配布
- ・観光 P R ホームページ「ぐるっとおでかけ阪神北」による情報発信

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
観光客入込 者数	16,620 千人 (H26 年度)	16,900 千人/年	17,200 千人/年	18,000 千人/年

- 外国語版対応観光 P R ホームページの開設 (5,322 千円)

増加する外国人観光客の阪神北地域への誘客促進を図るため、英語表記により当地域の魅力ある地域資源や観光情報を発信するポータルサイトを開設

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ホームページ アクセス件数	61,601 件 (H26 年度)	63,400 件/年	65,100 件/年	70,500 件/年

- ひょうご北摂観光・アンテナショップ(仮称)の運営 (10,130 千円)

平成 29 年に開設予定の新名神高速道路宝塚 S A (仮称)での地域特産品や観光情報の発信を視野に入れ、NEXCO 西日本管内のイベント実施奨励サービスエリアにおいてアンテナショップを開設

場所：三木 S A など

期間：平成 28 年 10 月の毎土・日曜日及び祝日

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
来場者数	—	—	1,000 人/日	1,000 人/日

- 北摂観光キャンペーンの実施 (3,120 千円)

日帰り圏の周辺大都市部である神戸等からの誘客促進を図るため、P R イベントや紙面購入等による P R 活動を展開し、観光資源等地域の魅力を広く情報発信

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
来場者数	—	2,000 人/日	2,000 人/日	2,000 人/日

- 「北摂☆きらっとバス」の運行 (80 千円)

北摂地域の歴史や文化、自然、産業等の地域資源を探访するバスを運行し地域の魅力を情報発信

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数	15人 (H26 年度)	40 人/年	40 人/年	40 人/年

○ 商店街免税店拡大による外国人誘客事業

外国人観光客の利用が期待される商店街による、免税店拡大等の観光客受入拡大の取組に対する支援

○ 留学生による地域内国際交流・魅力発見への支援（650 千円）【再掲】

エ) 阪神北地域経済の活性化

【総括 KPI】

- ・企業立地件数累計：15 件（H26：3 件）
- ・新設事業所数累計：2,580 所

【主な事業】

○ 産業立地条例による企業立地の促進

産業立地を促進するための立地支援施策の実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規企業立 地件数累計	—	3 件	6 件	15 件

○ 中小企業融資制度の推進

創業、経営革新、新分野進出などへの取組支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
経営革新承 認件数	7 件 (H26 年度)	7 件/年	7 件/年	7 件/年

○ 各種起業支援助成金等

- ・女性起業家支援助成金
県内で企業を目指す起業家への支援
- ・シニア起業家支援助成金
県内で企業を目指す起業家への支援
- ・ふるさと・移転促進起業支援助成金
兵庫へUJI ターンを希望する起業家支援
- ・ひょうごチャレンジ起業支援貸付
新たにサービス業などに取り組む起業家への無利子貸付

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
支援団体数 (上記 4 事業)	7 団体 (H26 年度)	7 団体/年	7 団体/年	7 団体/年

○ コミュニティ・ビジネス離陸応援事業の実施

コミュニティ・ビジネスを起業しようとする団体への立ち上げ経費補助

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
認定件数	1 件 (H26 年度)	1 件/年	1 件/年	1 件/年

○ 小規模事業者への経営改善普及事業の推進

商工会議所・商工会が行う経営改善普及事業等への支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
支援団体数	2 団体 (H26 年度)	2 団体/年	2 団体/年	2 団体/年

○ 商業・商店街の活性化

商店街の元気づくりにつながる事業への支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
支援団体数	16 団体 (H26 年度)	16 団体/年	16 団体/年	16 団体/年

○ 阪神北地域雇用対策三者会議・雇用促進セミナーの開催 (158 千円)

地域が抱える雇用問題や対応策等について政・労・使で協議し、県民への理解を深めるセミナーを開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数	32 人 (H26 年度)	40 人/年	40 人/年	40 人/年

○ 若者ものづくり人材確保支援事業 (500 千円)

高校生・大学生に対するものづくりの楽しさ等にふれる機会を提供するため、就業体験バスツアーやものづくり出張セミナーを実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数	725 人 (H26 年度)	800 人/年	800 人/年	800 人/年

○ 一流職人の指導による“きらっと☆オンリーワン” 障害者就労施設の自主製品向上・販売促進事業の実施 (1,307 千円)

障害者就労施設で製造・販売される自主製品について、製造責任者等を対象に、一流パティシエ・マイスター等による講習会を開催し、自主製品の創出や品質向上、販路拡大等の取組を進めるとともに、障害者就労施設で働く障害者の工賃の向上を図る。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
障害者平均 工賃	13,020 円/月 (H25 年度)	—	16,000 円/月	—

※ H30 年度目標：17,000 円/月

オ) 阪神北地域の暮らしの安全・安心を高める

【総括 KPI】

- ・ 記載事業の計画達成率平均値 H31:90%以上

【主な事業】

- 新名神高速道路をはじめとする高規格幹線道路と地域内を結ぶ交通ネットワークの整備
交通ネットワークの整備推進により地域の生活利便性を向上

川西インター線、三田西インター線、尼崎宝塚線、伊丹飛行場線、塩瀬宝塚線等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規整備済 累計	—	200m	7,125m	8,394m

- 河川総合治水対策の推進

武庫川、猪名川流域において、「ながす」河川下水道対策、「ためる」流域対策、「そなえる」減災対策を組み合わせた『総合治水』を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規対策済 箇所累計	—	—	5 箇所	8 箇所

- 山地防災・土砂災害対策の推進

近年頻発する豪雨災害に備え、土石流対策としての砂防えん堤の整備や、急傾斜地崩壊対策、六甲山グリーンベルト整備事業を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規整備済 箇所累計	—	1 箇所	6 箇所	11 箇所

- 橋梁、トンネル施設の老朽化対策の推進

修繕・更新のコストの低減と予算の平準化を図るため、適時適切な修繕により施設の長寿命化を図るなど、計画的・効率的に老朽化対策を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規実施済 箇所累計	—	12 箇所	24 箇所	24 箇所

※ 事業年度は H28 まで

○ 自転車安全快適空間の創出モデル事業の推進 (5,000 千円)

自転車による事故が管内で最も多い伊丹市において、自転車安全快適空間の創出モデル路線を選定し、自転車や歩行者が安全・快適に通行できるよう自転車レーンのカラー舗装や路面サイン、注意看板等を整備

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規整備済 累計	—	1,500m	2,000m	2,000m

※ 事業年度は H28 まで

○ 防災に関する総合出前講座等の充実 (1,000 千円)

住民の防災意識を高めるとともに、災害に対して「そなえる」ことの重要性について学び、行動につなげてもらうため、これまでの県職員の出前講座に加えて防災の専門家を招いた講演会を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数	—	400 人/年	500 人/年	500 人/年

○ ため池管理者だけでなく地域住民も参画した、ため池管理の啓発や重点整備ため池の改修
ため池管理者が地域住民とともに「ため池クリーンキャンペーン」の支援、児童を対象とした「ため池学校」の実施、重点整備ため池の改修の推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規重点整備ため 池改修箇所数(累 計)	—	1 箇所	1 箇所	8 箇所

○ 田んぼやため池を活用した雨水貯留のススメ!!

「総合治水」の観点から、ため池や水田に雨水を一時貯留する取り組みを推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
せき板配付枚 数累計	—	—	40 枚	160 枚

○ 自主防災組織避難訓練等補助

自主防災組織の活性化や地域防災力の強化を図り、大規模災害への的確な対応ができる自主防災体制の整備を促進するため、各組織が実施する避難訓練等に要する経費を補助

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
訓練参加団 体数	51 団体 (H26 年度)	55 団体/年	55 団体/年	55 団体/年

(1) 人口対策

東播磨地域では、20～24歳の転出超過が大きく、就職を機に地域外に流出していることが考えられるが、反面、明石市や稲美町では、0～9歳、20歳代、30歳代の転入が超過しており、通勤の利便性の高い地域への子育て世代の流入がうかがえる。そのため、安心して結婚・出産・子育てができるよう、ライフステージの様々な段階に対応した施策を展開するとともに、地域資源を活用した若年層の雇用の場の確保や近郊農業の地の利を活かした新規就農による雇用の創出等の施策により、東播磨地域への定着・移住などを進める。

ア) 安心して結婚・出産・子育てできるまちづくり

【総括 KPI】

- ・ 県民意識調査「住んでいる地域は、子育てがしやすいと思う人の割合」: 60% [H26: 53.3%]
- ・ 婚姻数: 3,500件/年の維持 [H26: 3,591件]
- ・ 出生数: 5,500人/年の維持 [H26: 6,021人]
- ・ 女性の就業率: 45.0% [H22: 43.2%]
- ・ 健康寿命: 男 79.45年、女 84.00年 [H21～H23: 男 78.45年、女 83.00年]

【主な事業】

(1) 結婚・出産・子育ての支援

○ 出会い・結婚の支援

東播磨出会いサポートセンター等により、独身男女の出会いの場と結婚の機会を提供
(上段: 目標、下段: 実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
年間成婚数	15組 (H23～26平均)	25組	25組	25組

(2) 健康づくりの推進

- みんなで作って食べよう「東はりま発ヘルシーメニュー」の普及促進 (2,554千円)
県民公募等により開発した「東はりま発ヘルシーメニュー」について、関係機関・団体等と連携し、働き盛り世代・高齢者世代等各世代に応じた普及促進を行う。

- ・ 東はりま発ヘルシーメニュー推進会議での検討

構成員:

学識経験者、食生活改善団体(いずみ会、栄養士会)、農業・漁業者、
食品製造・流通業者、給食施設・給食会社、保育所・幼稚園、県民の代表等

- ・ 世代別対策

① 子育て世代向け

保育所・幼稚園との連携による給食への導入促進、家庭への普及促進

メニューの活用方法を学ぶ体験型ワークショップ(スマート・チャレンジ Cafe)の開催

② 働き盛り世代向け

27 年度に開発した事業所給食版ヘルシーメニューを事業所や給食受託会社に普及啓発

③ 高齢者世代向け

簡単にできる高齢者向けヘルシーメニューの調理実習等を行う「いきいきカフェ」を開催

いきいきカフェで使用したメニューを、WEB サイト「ヒガシハリマ食堂」で発信

④ 全世代向け

WEB サイト“ヒガシハリマ食堂”のコンテンツを増やし、追加のヘルシーメニューや栄養・食生活の情報を掲載し充実

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ヘルシーメニュー数 (累計)	185 メニュー (H26 年度)	250 メニュー	260 メニュー	290 メニュー

イ) 東播磨ならではの特長を生かした産業の活性化

【総括 KPI】

- ・東播磨地域における若年者（20～24 歳）の転出超過数：▲190 人[H26：▲374 人]
- ・管内の製造品出荷額：県民局別 1 位を維持
- ・45 歳以下の若手農業者数累計：80 人[H26:65 人]

【主な事業】

(1) ものづくりの新展開と産業の活性化

- 実験工房「ファブラボ」による新たな「ものづくり」支援（8,740 千円）

個人による新たなものづくりの可能性を拓げる実験工房「ファブラボ」（3Dプリンター等のデジタル工作機器を利用し、自由なものづくりを行う工房）の開設を支援

- ・開設に向けた関係者との協議

内 容：開設場所の検討、運営支援のあり方やフォロー体制の検討 等

- ・初期投資及び初年度分の運営経費を補助

初期投資：改修費、備品購入費等

運営経費：機器リース料等

- ・ものづくり体験塾の委託実施

ファブラボ開設後、小学生等を対象にデジタル工作機器を活用したものづくり体験講座を開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ファブラボ年間利用者数	-	ファブラボ開設の検討	90 人 (H29.1 開設)	360 人

(2) “農”のブランド化戦略

○ “農”のブランド化大作戦（4,193千円）

スイートコーン、加古川和牛、ヘアリーベッチ米、兵庫のり等の東播磨の農畜水産物の認知度向上対策や、品質向上・生産拡大対策を強力に推進

- ・百貨店への売り込み、レストラン・ホテル・旅館への食材提供
- ・アグリフードEXPO大阪等出展
- ・「シェフとの集い」で興味を示したレストラン等の売り込み先を洗い出し
- ・天満大池にオープンした6次産業化施設や地域内の直売所等を活用したPR（試食販売、景品配布、旬の地魚と地元野菜の地産地消キャンペーン企画等）
- ・JR神戸線主要駅（三ノ宮、元町、明石、西明石、加古川等）等での販売イベント、駅貼りポスターによるPR（スイートコーン、加古川和牛等）
- ・KissFM等でのスポットCM放送
- ・スイートコーンのもぎとり体験支援

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
スイートコーン直売 所年間販売額	10,203千円 (H26年度)	15,000千円	17,000千円	23,000千円
トマト直売所年 間販売額	113,202千円 (H26年度)	123,000千円	135,000千円	150,000千円
直売所年 間来客数	1,680千人 (H26年度)	1,914千人	2,344千人	2,500千人

○ 東播磨の農業経営力アップ事業（14,200千円）

- ・ヘアリーベッチ米の分別処理施設導入支援
ヘアリーベッチ米分別処理のために必要な機械・施設（乾燥・調製等）を導入する集落営農法人等（経営面積30ha程度）を支援
- ・ヘアリーベッチを生かした新たな価値創出
ヘアリーベッチを緑肥として生産された農産物やその加工品等の有効成分、特性を検証し、有効成分の発現に効果的な栽培や加工方法などの検討を行うことで付加価値向上への取り組みを促進し、新たな価値創出を図る。
- ・露地野菜栽培の省力安定生産支援
地域の特産であるキャベツを中心とした露地野菜栽培への取り組みの一層の拡大、定着を図るため、省力安定生産に必要な機械・施設を導入する集落営農法人、認定農業者等を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
ヘアリーベッチ栽 培面積	90ha (H26年度)	160ha	200ha	300ha

○ 若手農業者のステップアップ事業（1,514 千円）

トマト等の施設園芸について、ベテラン農業者の施設内環境をモニタリングし数値化することにより、栽培管理の改善と若手農業者への技術の継承を図る。

- ・施設内環境モニタリングシステムの導入支援とデータの集積（6か所）
- ・施設栽培技術の高度化の推進

データを活用した現地講習会や研修などを通じて栽培管理技術の向上を図るとともに、当地域における栽培指針を作成

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
トマト直売所 年間販売額		123,000 千円	135,000 千円	150,000 千円
	113,202 千円 (H26 年度)			

(2) 地域の元気づくり

東播磨地域は、交通便利地であるにもかかわらず、平成 25 年度の観光客入込数は 8,777 千人で、10 県民局中 8 位（約 7%程度）となっており、その数も近年は横ばい状態である。また、管内の災害に対する備えや体感治安に関する住民の不安が高く（県民意識調査県民局別で最下位）、安全安心なまちづくりが課題である。そのため、地域資源のブラッシュアップや地域資源同士を連携させることによる「面」としての魅力の創出を図るとともに、住民に安全安心を実感してもらええる施策を展開する。

ア) 交流を核とした地域の魅力アップ

【総括 KPI】

- ・観光客入込数：10,000 千人[H25：8,777 千人]
- ・県民意識調査「住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合」：65.6%[H26：61.4%]

【主な事業】

(1) ふるさとの魅力とにぎわいづくり

○ 外国人モニターツアーの実施（2,610 千円）

外国人を対象に体験型のモニターツアーを開催し、外国人が魅力を感じる管内観光資源の掘り起こしと参加者による情報発信を実施

・外国人モニターツアーの実施

対象者：県内の外国人団体、外国人学校の生徒等

内 容：

① モニターツアーの実施

欧米系、アジア系等ターゲットを絞ったモニターツアーを実施し、参加者の意見をもとに誘客につながる観光ポイント、受け入れ側の課題等を分析
参加者がツアー中に魅力を感じたところを SNS 等で情報発信

② 学習会・情報交流会の開催

受け入れ側となる地元関係者の課題共有と意識啓発のため、学習会・情報交流会を開催

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
外国人モニター ツアー参加者数	-	40 人	50 人	80 人

○ 高砂みなとまちづくり～工楽家の改修とまちの活性化支援～（20,700 千円）

江戸時代初期から港町として栄えた高砂市臨海部の歴史的建築物（古民家等）を活用した拠点整備や住民参加のワークショップ開催を支援

・歴史的建築物（古民家等）を活用した拠点整備

築 200 年と言われ、工楽松右衛門の住家でもあった工楽家を堀川地区活性化の目玉として活用する高砂市の取組を支援

<整備実績>

H22 年度：花井家 H24 年度：尾崎家(高砂や)・大崎家

H26 年度：高砂通運(株)旧本店、旧高砂消防署分署 H28 年度：工楽家（予定）

- ・住民主体のまちづくりへの支援

県、市、住民が一体となってまちづくりを進めていくワークショップの手法が地域の人材発掘と交流の場として重要な役割を果たしていることから、引き続き開催を支援する。

構 成 員：商工会議所、観光協会、まちづくり協議会、市民（公募）、
高砂市、東播磨県民局

検討内容：工楽家とその周辺の活用策 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
高砂市の年間観光客入込数	104 万人 (H26 年度)	100 万人	114 万人	200 万人

(2) いなみ野ため池ミュージアムの新たな展開

東播磨地域の財産である「ため池」を“守り、活かし、次代へ継承”する「いなみ野ため池ミュージアム」の取組開始から15年目を迎え「ため池協議会」は受益の半数を超えるなど取組の輪が広がっているなか、今後、新たな「ため池文化」を創造し、水辺との心豊かな暮らしが思い出に残る東播磨づくりを推進する。

○ 水辺の魅力アップ交流促進事業（30,125千円）

- ・新たな「ため池文化」創造に向けた調査研究

時代に応じたため池の価値観やライフスタイルへの提案、教育など「新たなため池文化」を創造していくための体制を検討

- ・ふるさとの水辺・集い場創出事業

水辺の地域づくり関係団体の地域活動の拠点施設整備（東屋、トイレ等）を支援

- ・水系等で結束する上下流連携促進

水の連続性に配慮した生態系再生や里海連携の促進など、水系等での効果的な取組への指導・助言を行うコーディネーターを設置

- ・「ため池・疏水学習」の推進

地域の小学生の、ため池や疏水の「地域の財産」としての認識を高め、「ふるさと意識」を醸成（ため池学習10校、疏水学習12校、ため池教育プログラム1校）

- ・ため池の豊かな生態系再生事業

アカミミガメ等の外来生物に対するため池協議会等の地域防除活動を支援

○ ため池コウノトリプロジェクトの推進（10,000千円）

かいぼり中のため池に定期的に飛来するコウノトリの定着を目指した生息環境づくりを段階的に進め、ツーリズムなど地域活性化を総合的に推進

H28～29 プロジェクト検討・モデルづくり（検討会設置、餌量調査、構想策定、魚道などの生息環境づくりに向けた地域活動支援、啓発等）

H30～ プロジェクト開始（生息環境整備・取組等の拡大）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
年間ため池保全活動数	179 回 (H26 年度)	184 回	202 回	254 回

イ) 安全で皆が安心して暮らせるまちづくり

【総括 KPI】

- ・ 県民意識調査「住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合」：36.2%[H26：27.8%]
- ・ 県民意識調査「住んでいる地域は、治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合」：76.2%[H26：73.2%]
- ・ 管内の交通事故件数：3,536 件[H26：4,420 件]

【主な事業】

(1) 地域防災力の向上

○ ジュニア防災スクール (1,057 千円)

次代の地域防災の担い手を育成するため、地域の防災士、防災リーダーと協働で小学生等を対象に防災講座を実施

対象者：管内の小中学生 (700 名程度)

内 容：防災講義、非常食試食、避難所体験等 等

場 所：市防災センター、学校、子ども会の集まり等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加者数	89 人 (H26 年度)	700 人	700 人	700 人

○ ため池雨水貯留機能向上事業 (6,800 千円)

国庫補助事業により改修する「重点整備ため池」以外のため池について、軽微な改修等を行うことで雨水貯留機能を高める。

事業主体：市町、土地改良区等

内 容：① 洪水吐越流部の切欠き、軽微な補修

② 緊急落水用サイホン、排水ポンプの設置

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
雨水貯留改修ため池数	-	13 か所	12 か所	12 か所

(2) 誰もがいきいきと暮らせる地域づくり

○ チャレンジショップ「きずな」の販売力強化 (286 千円)

障害者授産製品を販売するチャレンジショップ「きずな」の常時販売品目の拡充、新たな出張販売・委託販売先の開拓等を通じ、販売力の強化を推進

- ・ 菓子や雑貨の専門家との協働による新製品の開発 (作成手順の作成、試作品製造)
- ・ 試食会の実施や売上額の分析、スイーツ甲子園へのエントリー等による統一ブランドの検討
- ・ 「きずな」(15 事業所が参画) での常時販売品目の拡充
- ・ 特別販売会の開催、商品カタログの発行
- ・ 新たな出張販売・委託販売先の開拓

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
年間売上額	1,810 千円 (H26 年度)	2,800 千円	4,000 千円	4,000 千円

○ シニア世代地域デビュー交流フェスタ (1,071 千円)

地域で新たに何かを始めたい、自らの経験や技能・知識を生かし、地域づくり活動に力を発揮したいと考えるシニア世代と地域活動団体とのマッチングや交流会を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
交流フェスタ等年間開催回数	10 回 (H26 年度)	10 回	15 回	15 回

(1) 人口対策

北播磨地域は、緑豊かな田園空間に研究開発・研修機関、農業改良普及センター等が集積しており、農業分野における大きなポテンシャルを秘めている。このため、北播磨地域の農業分野の可能性を引き出す取組みとともに、「家族」、「地域」、「生活（暮らし）」の絆を深め、誰もが住みたいと思う環境づくり、さらには、地域医療の確保や交通安全の推進、地域資源を活かしたふるさと意識の醸成、地域に根ざしたしごとの創出など、住みやすさが実感できる生活環境の実現を目指す。

第1 北播磨「農」と「食」の魅力づくりプロジェクト

【総括 KPI】

- ◆新規就農者数：5年間で35人(H25:24人)
- ◆農業産出額の増加：5年間で1,400百万円

【主な事業】

1 攻めの農業の推進（19,500千円）

北播磨が誇る農畜産物（山田錦、黒田庄和牛、ぶどう、乳牛等）について、市町、農業者団体等と協力し、生産性向上や販路開拓を支援する。

- ・ 山田錦の消費拡大、販路拡大等支援
- ・ 黒田庄和牛の飼養技術改善
- ・ 高品質で、高価格販売可能なプラチナぶどうの栽培実証ほ設置
- ・ 生乳の生産性向上のため、集落営農組織等による堆肥ストックヤード等の整備支援
[新規]等

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
山田錦JA 集荷量 (5年後)	208,225俵 (H26年度)	212,600俵	226,400俵	230,000俵
黒田庄和牛 神戸ビーフ 率(5年後)	69% (H26年度)	70%	71%	75%
プラチナぶ どう生産量 (5年後)	—	100kg	100kg	10,000kg
生乳生産量 (5年後)	22,161千t (H26年度)	20,000千t	20,000千t	20,000千t

2 北播磨地域木材利用の推進 (3,000 千円) [新規]

公共施設の建築を予定している市町に対して、NPOを派遣し、木造化に取り組むための基本構想や基本設計を発注する事前資料の作成等を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
管内市町施設木造 (木質)化支援件数 (4年間)	—	—	1 件	1 件

3 北播磨森林（もり）の担い手フォローアップ作戦 (1,000 千円)

低コスト作業体制の整備や若手作業員の育成等により、原木生産の効率化を図る。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
原木生産量 (5年後)	19,000 m ³ (H26 年度)	20,000 m ³	21,000 m ³	24,000 m ³

4 カムバック若者作戦の展開 (北播磨農林業への定着) (1,300 千円)

管内就農者の高齢化が進む中、若者の農業への定着を促進し、担い手の確保を図る。

- ・ 教員の北播磨農林業視察体験研修
- ・ 農業高校生の農家訪問
- ・ 地元高校生への林業ガイダンス

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
教員農林業 体験人数 (5年間)	17 人 (H26 年度)	40 人	40 人	40 人
高校生農家 訪問人数 (5年間)	110 人 (H26 年度)	120 人	120 人	120 人

5 食の企業化プロジェクトの展開 (6,000 千円)

農産物の直販や加工販売に取り組む農産加工グループ等に対し、特産物の開発強化や情報発信、商品力・販売力の向上、経営能力の向上を支援し、グループ等の企業化等を促進する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新商品開発数 (5年間)	16 品 (H26 年度)	16 品	19 品	20 品

6 高校生による北播磨の地産地消活動の推進 (1,000 千円)

地産地消に積極的に取り組んでいる管内の高校生が実施する、地元食材を使ったレシピ集の作成や、飲食店と協力した高校生レストランの活動を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
地産地消活動 参加高校生数 (5年間)	—	100 人	100 人	100 人

7 北播磨巻き寿司PR大作戦（1,000千円）

北播磨の地産地消のシンボルである巻き寿司をPRし、魅力を発信する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
売上高 (5年間)	379百万円 (H26年度)	380百万円	380百万円	380百万円
雇用者数 (5年後)	109人 (H26年度)	110人	110人	110人

8 担い手の確保・育成支援の推進（15,000千円）

適切な人・農地プランを作成した地域の中心経営体等に対し、農業用機械等の導入を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
中心経営体への 支援件数 (5年間)	12件 (H26年度)	14件	15件	18件

第2 いきいき暮らせる「北播磨」の創出

【総括 KPI】

- ◆ 認知症カフェケア人数：5年間で720人
- ◆ 県民意識調査の「心身ともに健康であると感じている人」の割合：70%（H26：67.0%）

【主な事業】

1 北播磨圏域認知症対策基盤整備支援事業の推進（7,840千円）

北播磨圏域における早期の認知症対策として、認知症の人やその家族の応援団となる人材の育成及び地域の交流基盤の整備を支援する。

- ・ 認知症カフェ立ち上げ支援
- ・ 認知症ケアネットの構築
- ・ 一般病院職員・かかりつけ医への認知症対応力向上研修開催支援
- ・ 認知症初期集中支援チーム員のサポート医支援研修開催
- ・ 認知症初期集中支援チーム員の看護師・作業療法士支援研修開催
- ・ 4DAS研修の開催（年2回：100人）

※ 4DAS：身体機能、認知機能、生活機能、認知症の行動・心理症状の4つの側面に基づき対象者をタイプ分類

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
認知症カフェ設置数 (5年間)	6箇所 (H26年度)	12箇所	9箇所	5箇所
認知症の人やその 家族の応援団 となる人材育成 数(5年間)	—	200人	200人	200人

2 若者の生きる力を育む歯の健康づくり事業の推進（1,000千円）[新規]

社会人になる前の高校生に、歯の健康の重要性を再認識させ、健康でいきいき暮らせる北播磨の実現を目指す。

- ・ 高校生の歯の健康づくり出前講座（3校で実施）
- ・ 啓発媒体配布 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
出前づくり講座 受講生徒数 (4年間)	—	—	360人	360人

3 地域包括ケアシステムの推進—かかりつけ医の普及・定着促進—（5,000千円）

地域医療情報システム「北はりま絆ネット」の活用・充実を図るとともに、在宅医療体制の構築に不可欠である「かかりつけ医」の普及・定着に取り組む。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
連携患者数 (5年後)	821人 (H26年度)	900人	1,000人	1,300人

4 感染症対策地域ネットワーク事業の推進 (1,500 千円)

医療機関、社会福祉施設、健康福祉事務所等が感染症の情報を共有し、対策について連携・協力を図り、県民への啓発などを実施する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
医療関係者専門研修会参加人数 (5 年間)	—	50 人	50 人	50 人
施設内巡回指導・研修会開催回数 (5 年間)	—	6 件	8 件	8 件

5 生物多様性保全活動の推進 (2,000 千円)

生物多様性の保全を図るため、「ため池」、「湿地」等における、市町、地域団体等による保全活動を支援する。

- ・ 木道整備 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
湿原周縁の雑木林の伐採・木道の整備箇所数 (3 年間)	—	1 箇所	1 箇所	—

6 「ストップ・ザ・交通事故」県民運動の推進 (1,000 千円)

県民一人ひとりの交通モラルの向上を図り、交通事故のない地域を目指して「ストップ・ザ・交通事故」県民運動を展開する。

- ・ 北播磨地域「ストップ・ザ・交通事故」県民運動推進協議会の開催 (夏頃)
- ・ 四季の交通安全運動に合わせたキャンペーンの実施 (年4回)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
交通事故件数 (5 年後)	1,532 件 (H26 年度)	1,456 件	1,380 件	1,152 件

7 小野長寿の郷構想の推進

多自然地域で三世代が交流する健康・安心・生きがいのまちづくりモデルの整備を推進する。

- ・ 小野市山田地区、市場地区：340ha

第3 ふるさと意識の高揚と地域に根ざしたしごとの創出

【総括 KPI】

- ◆地域間及び世代間交流への参加人口：5年間で1,000人
- ◆県民意識調査の「若者が希望を持てる社会だと思う人」の割合：15%（H26:10.3%）

【主な事業】

1 北播磨地域ふるさと魅力発信サポート事業の推進（2,300千円）[新規]

管内の地域団体等が実施する地域の魅力を発信する活動を支援する。

- ・人口増加につながる事業、地域外との交流事業、地域の魅力発信事業への支援

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
交流活動に取り組んでいる地域団体、NPO等への支援件数(5年間)	—	4件	4件	4件

2 北はりま田園空間博物館交流事業の推進（3,000千円）

北播磨地域全体への広域的展開や、情報発信・交流機能の更なる強化を図るなど、地域のアイデンティティを高めるとともに、北播磨地域への一層の誘客促進と魅力発信を図る。

- ・交流バスツアーの実施
- ・ボランティアガイド養成講座の開催 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
交流ツアー参加人数(5年間)	463人 (H26年度)	480人	485人	500人
ファンクラブ会員数(5年後)	45人 (H26年度)	60人	70人	100人

3 東条川疏水ネットワーク博物館構想の展開（11,000千円）

東条川疏水の美しい景観を「博物館」と見立て、学習の場や地域の人々が楽しめる場として活用し、地域の活性化を図る。また、「日本遺産」認定の申請についても、博物館会議で論議を深める。

- ・「東条川疏水の日」（11月23日）イベントの実施
- ・案内看板、道標設置
- ・出前講座実施 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
イベント等での交流人数(5年間)	5,500人 (H26年度)	6,000人	6,000人	6,000人

4 北播磨異業種交流・新ブランド創出支援事業の展開（1,700千円）

管内を拠点に独創的な事業活動や経営に取り組む若手地場産業経営者等による異業種交

流の機会を設け、若手人材を育成するとともに、新たなビジネス展開を促進する。

- ・ 異業種交流会開催
- ・ 新商品・販路開拓等の取り組みへの支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
異業種交流会参加人数 (5年間)	—	10人	10人	10人
中小企業を対象とした新ブランド創出支援のための助成件数(5年間)	—	1件	2件	3件

5 地場産業元気づくりイベントへの支援 (1,500 千円)

管内において市町や商工団体等が実施する北播磨の地場産業や地域ビジネスの販路拡大、PR等を行うイベントを支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
イベント参加人数 (5年間)	1,700人 (H26年度)	2,000人	2,000人	2,000人

6 来た、見た、知った！食の探検隊（バスツアー）(1,000 千円)

管内の小学校1年生から3年生とその保護者を対象とした、HACCP承認等施設見学ツアーを開催する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ツアー参加人数 (5年間)	—	60人	60人	60人

7 ほんとにゴミ？ゴミからお宝発見！リサイクルツアー (1,000 千円)

管内の小学生とその保護者を対象としたリサイクル工場見学ツアーを開催する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ツアー参加人数 (5年間)	—	28人	83人	83人

8 カムバック若者作戦の展開（北播磨企業への定着）(1,700 千円)

北播磨で生まれ育った若者にふるさとの企業の良さを知ってもらい、北播磨への定着を促進する。

- ・ 新規大学卒業予定者等を対象とした就職説明会開催
- ・ 「ふるさと企業ガイド」作成
- ・ 企業と大学（キャリアセンター担当者）の就職情報交換会開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
就職希望者参加人数 (5年間)	72人 (H26年度)	100人	100人	100人

(2) 地域の元気づくり対策

北播磨地域は、中国自動車道、山陽自動車道等が通過する等、交通の結節点であり、阪神大都市圏に近接しているという利点があるだけでなく、管内にはJR加古川線、神戸電鉄粟生線、北条鉄道があり、3線は粟生駅で連絡するなど鉄道ネットワークが形成されている。

また、管内には農業用ため池が6,886箇所（平成26年（2014年）4月現在）あり、農業用水を供給する水源となっているだけでなく、防火、洪水対策、地域の景観形成等多面的な機能を発揮している。

このような多様な北播磨の地域資源を活かすとともに、道路をはじめとした生活空間の安全性や利便性を高めることにより、地域の元気づくりを推進する。

第4 地域の資源を活かした広域観光の推進

【総括 KPI】

- ◆北播磨への観光客総入込数：5年後に15,500千人（H25：14,169千人）
- ◆加古川線・神戸電鉄粟生線・北条鉄道乗車人数：5年後に9,867千人（H25：9,295千人）
- ◆県民意識調査の「住んでいる地域に、観光などの訪問客が増えていると思う人」の割合：15.0%（H26:13.8%）

【主な事業】

1 “ハートにぐっと！北播磨” 魅力アップ事業

○ 北播磨広域観光事業の推進（4,500千円）

各種集客イベントでの魅力発信やPRの実施により、北播磨地域への誘客を促進する。

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
兵庫・北播磨観光ポータルサイト「ハートにぐっと北播磨」での情報発信(アクセス)数(5年間)	192,211件 (H24~26年度平均)	200千件	200千件	200千件
北播磨体験バスツアー事業参加人数(5年間)	35人 (H26年度)	70人	70人	70人

○ JR加古川線、神戸電鉄粟生線、北条鉄道の利用促進・活性化事業の推進（4,500千円）

北播磨の鉄道ネットワークを守り育てるため、沿線市町や関係団体と連携し、JR加古川線、神戸電鉄粟生線、北条鉄道の利用促進及び沿線活性化を図る。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
北播磨の鉄道 絵画公募展へ の公募点数 (5年間)	586点 (H26年度)	600点	600点	600点
北播磨の鉄道 関連イベント 参加人数 (5年間)	224人 (H26年度)	300人	300人	300人

○ 広域連携事業の新展開に対する支援（1,000千円）

ふるさと意識の醸成や地域への誘客、市内外への情報発信を目的とした交流イベントの開催など、市町が広域的に連携して実施する事業を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
支援件数 (5年間)	—	1件	1件	1件

2 おいしんぼ館発北播磨魅力発信事業の推進（3,000千円）

北播磨おいしんぼ館を核に、神戸元町商店街及び垂水商店街を展開の場としたイベントを実施し、北播磨の魅力情報を発信するとともに、北播磨地域への誘客を促進する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
関連イベント 参加人数 (4年間)	16,500人 (H26年度)	16,500人	16,700人	—

3 北播磨地域景観資源の発掘（3,000千円）

管内の優れた景観を発掘し、郷土の景観に対する地域住民の誇りを醸成することにより、観光や地域活性化に役立つ景観の実現を推進する。

- ・ 景観形成重要建造物等の候補に値する建造物の選出 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
守り育てるべき、古民家・建造物等選出件数(5年間)	—	70件	20件	10件
景観に関する自主活動を行っている団体への支援件数(5年間)	—	3件	1件	1件

4 観光資源の魅力アップ（20,000千円）

観光資源の魅力を高め、交流の促進につながる集客イベントや施設整備などを支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
支援件数(5年間)	4件 (H26年度)	8件	8件	8件

第5 安全な「北播磨」の創出

【総括 KPI】

- ◆土砂災害危険地域の解消：5年間で土砂災害防止工事着手 11 箇所（419 戸の人家の保全）、5年間で治山ダム 60 箇所整備
- ◆土砂災害警戒区域総点検・土砂災害特別警戒区域指定の完全実施：5年間で総点検完了 1,356 箇所、指定完了 213 箇所
- ◆県民意識調査の「住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものとなっていると思う人」の割合：45%（H26：40.4%）

【主な事業】

1 北播磨のため池安全・安心プロジェクトの推進（23,300 千円）

ため池災害の未然防止とため池を活用した総合治水に取り組む。

- ・ ため池保全講習会の実施
- ・ 不具合のあるため池の簡易部分補修の実施
- ・ 堤体草刈省力化機械導入・普及拡大
- ・ 洪水吐の一部切下げ改良による雨水貯留機能の確保

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ため池簡易部分 補修実施箇所数 (含:国庫補助に よる改修) (5年間)	—	23 箇所	26 箇所	27 箇所
ため池雨水貯留 機能向上箇所数 (含:国庫補助に よる改修) (5年間)	7 箇所 (H26 年度)	3 箇所	20 箇所	22 箇所

2 排水設備誤接続調査の推進（12,000 千円）[新規]

加古川流域下水道の処理区域において、流域各市が行う規模の大きな公共施設にかかる排水設備の誤接続調査について支援を行い、豪雨時の浸水被害対策の進捗を図る。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
排水設備誤接続調査 実施箇所数 (5年間)	—	30 箇所	24 箇所	35 箇所

※ 5年間で 54%調査完了

3 通常砂防事業、急傾斜地崩壊対策事業、県単独砂防事業、治山事業の実施（747,000千円）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
土砂災害防止 工事着手箇所 (3年間)	2箇所 (H26年度)	4箇所	3箇所	—
土砂災害警戒区域 総点検完了箇所 (1年間)	—	1,356箇所	—	—
土砂災害特別警戒 区域指定完了箇所 (2年間)	13箇所 (H26年度)	100箇所	100箇所	—
治山ダム整備基数 (4年間)	7基 (H26年度)	12基	12基	—

4 粟田橋災害関連事業の推進（132,000千円）

- ・ 完成予定：H28.7

5 東播磨道（第2期）事業の推進（1,200,000千円）

- ・ 用地買収：H28年度～30年度
- ・ 工 事：H29年度～33年度
- ・ 完成予定：H34.3

6 不法投棄・不適正保管への地域一体となった対応の強化（4,000千円）

地域住民・事業者そして行政が一体となり、北播磨管内の不法投棄・不適正保管防止への対応を強化する。

- ・ 不法投棄防止地区の拡充
- ・ 不法投棄防止活動推進員の拡大 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
不法投棄防止活 動推進員委嘱人 数(5年間)	393人 (H26年度)	70人	20人	20人
不法投棄防止地 区追加指定地区 数(5年間)	136地区 (H26年度)	14地区	10地区	10地区

(1) 人口対策

中播磨地方は、郡部を中心に全域で人口が減少し、特に進学・就職を機にする20歳代の流出が顕著となっている。このため、地元のものづくり産業などの企業と人材のマッチングによる若者の地元就職の促進、農業における新規参入の促進、就農定着のための農地確保や後継者育成、製品の販路開拓などの支援による就農等の拡大を図る。加えて、「人の輪」のつながりの強化や安全・安心な暮らしの環境づくりの推進により、若い世代が安定した就業と生活のもと、将来に希望を持って、結婚、出産し、安心して子育てをすることができるふるさとづくりを目指す。

ア) 若者の地元就職の促進

【総括 KPI】

- ・ 中播磨の新卒高校生の管内就職割合 : 60% [H25 : 48%]
- ・ 中播磨地域における認定農業者数 (農業の担い手) : 95人 [H26 : 88人]
- ・ 中播磨の若者の転出入超過数 15~19歳 : ▲100人 [H26 : ▲120人]
- 20~24歳 : ▲320人 [H26 : ▲402人]

【主な事業】

(1) 企業の人材確保支援

- ものづくりを支える人材確保支援事業 (500千円)

中播磨地域に集積するものづくり産業に係る中小企業の活性化を図るため、地元高校生が地元ものづくり企業を知る機会を提供し、その魅力を紹介することで、地元企業の人材確保を支援する。

- ・ 中播磨地域の高校生を対象にした企業紹介セミナー

実施時期：平成29年3月 (予定)

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
セミナー参加者数	—	300人	300人	300人

- 各種就職相談会・面談会の開催

地域雇用の確保のため、国、県、市の連携による就職相談、面接会を実施し、地域雇用の確保に努める。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
面接会参加者数	—	2,000人	2,000人	2,000人

(2) U・J・I ターン対策

- 大都市圏の大学キャリアセンター（就職部）と連携した地元企業PR作戦（2,000千円）
中播磨のものづくり企業の紹介や、地元で働く魅力を本音で伝える「帰ってこい」メッセージ集をWEBで発信するとともに、地元企業の会社案内資料をまとめた「中播磨企業ファイル」を作成し、大学のキャリアセンター（就職部）等に配付する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
WEB掲載企業数	—	0社	20社	20社

- 理系大学生を対象とした「中播磨地域ものづくり企業見学ツアー」の実施（3,300千円）
中国・四国地方など近隣の大学で、兵庫県出身者の多い大学の理系大学生をターゲットとしたバスツアーを開催するとともに、九州地方など遠方の理系大学生をターゲットとした出張企業説明会を実施する。

- ・ 企業見学バスツアー：3大学予定
- ・ 出張企業説明会：1箇所予定

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
ツアー等参加者数	—	40人	40人	40人

(3) 若者の雇用の場の確保と能力向上

- 地域農業の担い手育成「野菜増産大作戦事業」（3,500千円）

生産技術や生産物の品質向上を図るため体系的な技術研修を実施するとともに、より鮮度の高い商品の提供と出荷調整ができる収穫から消費までのコールドチェーン化を構築し、周年生産や規模拡大に向けた生産基盤の整備を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
新規流通件数（累計）	—	3件	8件	13件

- 中播磨木造インターンシップによる技術継承支援（550千円）

中播磨地域の大工、左官、瓦葺き技能者等の伝統的木造技術を持つ職人組合等と協働して、若年層の技術者を対象とした技術伝承の機会を創出する「かみかわ木造インターンシップ」による技術継承事業を支援するとともに、職人組合及び地区住民等との地域間交流と活性化の促進を図る。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
実習参加者数	—	25人	25人	25人

イ) 暮らしやすさ No. 1 のふるさとづくり

【総括 KPI】

- ・住んでいる地域は子育てがしやすいと思う人の割合（県民意識調査）
：60% [H26：48.7%]
- ・健康寿命（県健康づくり推進実施計画 中播磨圏域計画）
：男性 78.25 歳、女性 83.67 歳 [H25：男 77.25 歳、女 82.67 歳]
- ・地域の災害に対する備えは以前より確かなものになっていると思う人の割合（県民意識調査）
：45% [H26：31.9%]

【主な事業】

(1) ふるさと意識、地域への愛着の醸成

○ 地域文化継承応援事業（1,000 千円）

地域団体が行う中播磨の伝統文化や郷土史、食文化など「地域の文化」を次世代に伝える事業に対して助成を行い、地域の賑わいづくりを支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
応募数	—	0 件	6 件	6 件

○ 地域づくり活動応援事業（一般枠・特別枠）（8,000 千円）

地域団体等が実施する地域の課題解決につながる取り組みや団体の活性化のために行う取り組み（県民提案型協働事業）を支援することにより、地域を活性化し、まちの賑わいづくりを推進する。

※特別枠：年度ごとにテーマを設定

H28 年度は、姫路城おもてなし応援事業、地域文化継承応援事業(再掲)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
応募数	—	40 件	40 件	40 件

○ 地域活動交流メッセの開催（1,000 千円）

地域の魅力発信、元気なコミュニティづくりに取り組む地域団体の活動発表・情報交換を通じて、地域づくり活動の活性化を支援する。

- ・実施時期：平成 28 年 10 月 30 日（日）
- ・実施内容：地域づくり活動発表・展示、地域の特産品見本市 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
メッセ参加者数	—	4,000 人	4,000 人	4,000 人

(2) 安心の医療・福祉・健康ネットワークの構築

○ 看護師病院合同就職説明会、看護系学校合同進学説明会（804 千円）

地域の医療を支える人材確保を図るため、課題を共有する看護協会、民間病院協会等と連携のもと、看護人材の確保に向けた就職説明会等を重層的に開催する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
説明会等参加機関数	—	60 機関	60 機関	60 機関

○ 地域包括ケアシステム推進の支援（750 千円）

市町間の連携による効率的・効果的な認知症対策及び地域包括ケアシステム構築を行うために必要な調査を実施するとともに、市町・医師会・介護事業者・住民等を対象とした会議や研修会を開催するなど、広域支援を行う。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
会議等参加機関数	—	70 機関	70 機関	70 機関

○ 中播磨“はばたけ授産品コンクール”の開催（1,200 千円）

管内の障害福祉事業所で生産する授産品のコンクールを開催し、選定された優秀作品をはじめ管内で生産される授産品について、県主催イベント等で配付するとともに、関係機関と連携し広くPRするなど、授産品の販路拡大を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
コンクール参加機関数	—	20 機関	20 機関	20 機関

○ 地場産品もちむぎの機能性（豊富な食物繊維、血圧上昇抑制、血中コレステロール低下）を生かした食品の普及と産地育成に向けたフォーラムの開催（650 千円）

生産性向上のための栽培体系の改良や、機能性食品としての用途拡大を図ることにより、もち麦産地のブランド力に取り組んでいく。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
フォーラム開催数	—	1 回	1 回	1 回

(3) 安全・安心のまちづくり

○ 南海トラフ巨大地震対策

・津波防災インフラ：八家川水門、姫路港中島護岸補強等 16 箇所

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
箇所数 (累計)	—	3 箇所	8 箇所	16 箇所

- ・ 橋梁耐震補強：生野橋等 11 橋梁

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
箇所数 (累計)	—	3 箇所	7 箇所	11 箇所

○ 風水害対策

- ・ 山地防災、土砂災害：福田川等砂防・急傾斜（22 箇所）、土砂災害特別警戒区域指定促進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
箇所数 (累計)	—	0 箇所	1 箇所	22 箇所

- ・ 治水対策の推進：市川（阿成工区、砥堀暫定対策）船場川（姫路競馬場調節池）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
箇所数 (累計)	—	1	2	3

- ・ ため池等整備事業：17 箇所

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
箇所数 (累計)	—	0 箇所	3 箇所	17 箇所

○ 地域防災力向上対策

- ・ 防災道路強靱化：西脇八千代市川線等 9 カ所

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
箇所数 (累計)	—	2 箇所	5 箇所	9 箇所

- ・ インフラ・メンテナンス：排水機場・水門（早期対策（A）3カ所）、橋梁（早期対策（特A）10橋梁）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
箇所数 (累計)	—	9 箇所	11 箇所	13 箇所

- ・ ため池安全・安心定期点検の実施（ため池管理者講習会実施）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
講習会参加 者数	—	80 人	80 人	80 人

- ・ 地域住民の防災・減災意識の啓発（講演会等実施）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度 (目標)	H28 年度 (目標)	H31 年度 (目標)
講演会等参 加者数	—	200 人	200 人	200 人

・地域防災活動の活性化（中播磨防災リーダーのスキルアップと実践活動の展開）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
フォローアップ講座受 講者数	—	0人	50人	0人

○ 便利で快適な公共交通の実現

・駅周辺アクセス道路の整備促進：JR福崎駅（甘地福崎線）、JR香呂駅（宍粟香寺線）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
箇所数 (累計)	—	0人	2人	2人

・地域公共交通（コミュニティバス等）への運行支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度 (目標)	H28年度 (目標)	H31年度 (目標)
住んでいる地域の公共交 通は便利だと思う人の割 合	45.9% (H26年度)	48.5%	49.6%	52.8%

・バス路線の利便性・安全性の向上：岩屋生野線（岩屋）、大柳仁豊野線（東）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
箇所数 (累計)	—	0か所	1か所	2か所

(2) 地域の元気づくり

中播磨地域は、多彩な自然に恵まれた地域であり、道路、鉄道、港湾が整備され、暮らしやすい環境が整っている反面、中播磨地域を象徴する一歩抜き出た要素が見えにくく、「ものづくり」や「農林水産業」、「観光・ツーリズム」の推進を基軸に、地域の優れた資源を際立たせ、ブランド化を図っていく必要がある。

このため、産学連携による「ものづくり」企業の競争力の向上、社会インフラの充実、農林水産業の活性化を通じた都市と農山漁村の交流の拡大を図るほか、播磨全域を視野にテーマ性・ストーリー性を持った「広域観光周遊ルート」を形成し、通過型から滞在型へ、観光・ツーリズムの新たな展開を図る。

ア) 播磨を支える産業競争力の強化及び産業インフラの構築

【総括 KPI】

- ・ 県立大学の管内企業との共同研究件数 : 20 件 [H26 : 10 件]
- ・ 中播磨における新規・増設企業立地件数 : 10 件 [H26 : 9 件]

【主な事業】

(1) 産学官連携の推進による企業の経営革新

- 産学官連携による「産業力」強化 (2,000 千円)

- ・ 「企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2016」

実施内容：製品や技術、研究シーズの展示・発表 等

実施時期：平成 29 年 11 月（予定）

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
来場者数	—	600 人	650 人	650 人

- ・ 研究室ツアー事業（ラボ交流ツアー）

産学連携を模索している企業が、県立大学工学研究室を直接訪問し、研究装置を見学しながら、研究内容をわかりやすく説明を受けるなど、大学研究を来て・見て・知ってもらおうツアーを実施する。

- 大企業とのマッチングによる地元企業の販路拡大 (500 千円)

地元中小企業の取引拡大を図るため、ひょうご産業活性化センターと連携して、県外の大企業と地元中小企業との取引商談会を開催する。

- ・ 発注企業：県外の大企業 3 社程度

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加（発注） 企業数	—	0 社	3 社	3 社

(2) 多様な産業活動を支える社会基盤の充実

○ 播磨臨海地域道路の早期実現

国道2号バイパスの渋滞解消、災害時のリダンダンシー確保とともに、ものづくり拠点播磨臨海地域の発展に不可欠である播磨臨海地域道路の早期事業化に向け取り組む。

- ・国の計画段階評価の早期完了に向けた地元市町と一体となった調査協力
- ・県として必要な関連調査を実施（ICアクセス道路等の検討、早期整備に向けた事業手法の検討 等）

○ 地域間交流を促す道路の整備促進

岩屋生野線（岩屋）、久畑香呂線（恒屋）、大柳仁豊野線（東）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
箇所数 (累計)	—	0か所	1か所	3か所

○ 姫路港における港湾機能の充実（岸壁・埠頭用地の整備）

背後地の工業地帯を支える港湾として、貨物船の大型化や企業活動の展開による新たな貨物需要への確に対応するため、5万トンクラスの貨物船が入港可能な大水深公共岸壁（-14m）及び埠頭用地の整備に向け取り組む。

- ・整備面積等
 - 岸壁（-14m）：280m
 - 埠頭用地：4ha

イ) 都市と農山漁村との交流拡大

【総括 KPI】

- ・中播磨地域における都市農村交流施設利用者数：700千人〔H25：575千人〕
- ・中播磨地域における農産物ブランド戦略策定品目数：12品目〔H25：8品目〕

【主な事業】

(1) 生産者と消費者の交流の場づくり

○ 食と農で結ぶ夢街道づくり事業（5,400千円）

夢前スマートインターチェンジの開通をふまえ、夢街道（県道姫路神河線の沿線）の豊かな自然で育まれた農産物や塩田温泉などの観光資源をPRするとともに、地域特産物のブランド化や農業体験、交流が1年を通して行える環境を整備し、夢街道への人の流れを活性化させる。

- ・アンテナショップ設置（観光案内・特産品販売）、田宴アート実施、プレミアム商品券発行 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
観光客数	475千人 (H25年度)	490千人	500千人	530千人

- ハーブを活用した姫路市山之内地区博物館づくりプロジェクト事業（2,700千円）
「食・農・健康」をテーマに、都市住民との交流活動や地域農産物の活用、地域企業との医農福連携による仕事・生きがいづくりを支援し、高齢者がいきいきと働き、生活できる地域を形成する。
・地元産ハーブ等を使った健康レストランの開設とメニュー開発、高齢者の参画によるハーブ等の栽培と新たな特産品づくり、ハーブ等の体験農場や健康カフェの開設、「食と農と医のシンポジウム」の開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
シンポジウム等 交流会参加 者数	—	300人	300人	300人

(2) 中播磨の魅力ある農林水産ブランドの確立

- “播磨灘産かき”PR大作戦事業（5,000千円）
良質で加熱しても縮みにくい播磨灘産の大粒生カキ・大粒冷凍カキを、「播磨（仮称）」として首都圏・京阪神でPRしブランド化を図るとともに、種苗の採取から生ガキ生産までを播磨灘で行う“純播磨灘産かき”（「播磨プレミアム」仮称）の生産を目指す。
・公共交通機関等使ったPR、産地PRのためのポスター等の作成・配布、播磨灘産かきのフェア等の開催、新商品の開発試験

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
商談件数 (累計)	—	30件	35件	50件

- 秘めたひめじの前どれ再発見（1,500千円）
あまり流通していない水産物や、流通しているものの知名度が低い水産物について、順次、メニュー開発・加工品開発を推進。販路拡大を図るとともに、特産品として観光振興に活用する。
・開発予定品目：ハモ、サワラ、カラスミ、サーモン、アユ等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
商品開発件 数(累計)	—	1件	2件	5件

(3) 農山漁村の魅力の再認識

- 地域再生大作戦の推進
アドバイザー派遣、地域活動支援等により、がんばる地域を応援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
実施地区件 数(累計)	—	2件	4件	10件

ウ) 播磨ツーリズムエリアの形成

【総括 KPI】

- ・中播磨地域における観光入込者数：12,000 千人〔H26：10,022 千人〕
- ・中播磨地域における観光宿泊者数：1,000 千人〔H26：840 千人〕

【主な事業】

(1) テーマ、ストーリーのある観光拠点の創出

- マスコミ、インフルエンサー（世間に大きな影響力をもつ人や事物）、旅行会社を活用した播磨全域を視野に入れた広域観光ルートのプロモーション展開（17,700 千円）

銀の馬車道の姫路城、竹田城も含めた戦国時代からの歴史的背景や、フランス技師との交流に係るストーリー等を積極的に発信し、城崎温泉、京都、大阪とを結ぶ広域観光ルートとして提案する。

- ・「Himeji Castle-Gin No Bashamichi-Kinosaki Onsen」ルートの形成
- ・「旅行会社向け播磨ツーリズム素材集」の制作・提供
- ・旅行会社・マスコミ向け招聘ツアー、個別取材対応の実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
招聘ツアー 等実施回数	—	2 回	2 回	2 回

- 観光拠点の創出（14,516 千円）

姫路城グランドオープン、夢前スマートインターチェンジの開通などにより、国内外から観光客等の来訪が大幅に増加していることから、外国人旅行者目線での観光拠点及びおもてなし体制を広域で構築し、姫路から中播磨各地への人の流れを活性化させる。

- ・「銀の馬車道」交流ゾーンの形成
- ・冬の大河内高原魅力創出プロジェクトパートⅡ
- ・外国人旅行者へのおもてなし調査・研究

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
冬期大河内 高原宿泊利 用者数	—	3,000 人	3,000 人	3,000 人

(2) 姫路港、妻鹿漁港、家島港の観光利用

- 姫路港観光プロモーション

多国語版のパンフレットを活用し、国内及び外国船社や代理店、クルーズを企画する旅行会社に対して、積極的・効果的な誘致活動を実施するとともに、外国旅行者の利便性向上のため Wi-Fi を整備する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
クルーズ客 船寄港回数	—	2 回	2 回	2 回

- 姫路港ふれあいフェスティバルの開催（5,404千円）

「銀の馬車道」の発着点でもある姫路港周辺でフェスティバルを開催し、姫路港の重要性や海の魅力を発信するとともに身近な港としてPRする。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
フェスティバル参加者数	—	9,000人	9,000人	9,000人

- 家島港周辺に観光客を対象とする地元水産物提供・販売拠点を設置

(3) 海外観光客等の快適性・利便性の向上

- 安全で快適な通行空間確保、優れた景観の保全・形成

・無電柱化実施プログラムの推進：和久今宿線、姫路停車場線

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
箇所数 (累計)	—	0か所	0か所	2か所

- 道路案内標識の英語表記への改善

・姫路神河線等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
案内標識改善枚数 (累計)	—	123枚	223枚	344枚

(1) 人口対策

西播磨地域では、人口の減少、人口の高齢化がそれぞれ全県より早く進んでいる。現状のままでは、西播磨地域の人口減少は全県平均の 1.3 倍のスピードで進行すると見込まれる。将来にわたり活力ある地域社会を構築していくためには、西播磨地域の未婚化・晩婚化・晩産化による人口減少に歯止めをかけることが急務となっている。

このため、早期結婚を促し婚姻率を高め、出生数の現状維持を図るとともに、都市部からの移住や地元での就労を進め、人口減少に歯止めをかける。また、交通網の充実により、西播磨地域における交流や生活利便性の向上を図る。

ア) 人口減少への対応

【総括 KPI】・出生数の現状維持 合計特殊出生率 1.56 (H22 : 1.48)

- ・西播磨地域への移住者 (西播磨暮らしサポートセンターの仲介によるもの)
累計 H31 : 25 世帯 (5 世帯/年) (H25 : 1 件、H26 : 0 件)

【主な事業】

○ 西播磨暮らしの推進 (14,700 千円)

① 西播磨暮らし体験モデル事業

長期(1年～3年)移住施設、短期(1週間程度)滞在施設の利用に供する空き家を市町等が整備する場合に改修費用を補助

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
空き家改修 補助件数	—	3 件	3 件	3 件
		4 件		

② 空き家利活用支援事業

空き家バンクに登録した空き家の所有者への片付けに要する経費を補助

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
片付け経費 補助件数	—	10 件	10 件	10 件
		5 件		

③ 西播磨の田舎暮らし体感！空き家見学バスツアー

管内の空き家見学、先輩移住者との交流、移住相談等を行うバスツアーを実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
バスツアー 参加者数	—	60 人	60 人	60 人
		70 人		

④ 西播磨暮らしサポートセンターの運営

情報提供に加え、地元自治会等との連携強化や移住後のサポートなど、よりきめ細やかな移住支援を実施

○「西播磨“結婚”っていいなキャンペーン」推進（4,500千円）

独身者が結婚に前向きになるような、きめ細やかな縁結び活動を促進するとともに、地域ぐるみで結婚を進める機運を醸成するため、「西播磨“結婚”っていいなキャンペーン」を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
婚活事業の カップル成 立数	—	—	10組	10組

イ) 西播磨地域での雇用の確保

【総括 KPI】・ 商工業新規雇用者数：110人（H31 累計）

・ 農業・林業就業者数（H31 累計）

	農業		林業
	45才未満の 雇用就農者数	45才未満の 自営就農者数	新規林業就業者数
地域内	40人 (H26:7人/年)	75人 (H26:13人/年)	15人 (H22~H26 平均 2.6人/年)
地域外 から	25人 (H26:3人/年)	35人 (H26:5人/年)	—

【主な事業】

○西播磨ふるさと人材確保の推進（3,700千円）

①ふるさと企業合同就職説明会の開催

西播磨地域最大級の合同就職説明会を開催

- ア 開催時期 就活市場解禁後まもなく
- イ 開催場所 姫路市
- ウ 参加企業 50社（西播磨地域に事業所を有する企業）
- エ 参加者数 200人

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
参加者数	—	—	200人	—

○「西播磨アグリフロンティアカレッジ」プロジェクトの推進（4,000千円）

農業高校卒業生、U・J・I ターン等の若者を対象に、就農に向けた実践研修を行う「西播磨アグリフロンティアカレッジ」を運営し、就農・定着までの支援を総合的に行うことで、担い手農業者として育成

研修生への研修支援（栽培技術・経営手法の習得や外部研修派遣、研修中の所得確保等）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
研修終了就農 者数※	—	—	1人	8人

※ 雇用就農者を含む。

○農業法人のマーケティング力向上対策（3,120千円）

西播磨地域の農業法人等が取り組む商品のPR活動や、品質、生産・販売力向上のための体制整備を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
体制整備取組 法人数	—	—	2経営体	8経営体

○企業の地域農業参入モデルづくり（1,000千円）

農業参入企業と地域の農業者や加工・販売業者、行政・関係団体が連携し、それぞれがメリットを創出し享受出来る仕組みをつくるための総合的な計画策定等を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
参入企業数	—	—	4企業	7企業

ウ) 西播磨地域の交通網の整備による生活利便性の向上

【総括 KPI】・姫新線の年間利用者数：300万人（H26：287万人）

・「兵庫のゆたかさ指標」県民意識調査 「住んでいる地域は、県内のどこへでも便利に移動できると思う人の数」 目標：30%（H26：26.8%）

【主な事業】

○JR姫新線80周年記念事業・利用促進活動の実施（7,000千円）

姫新線開業80周年を契機に、沿線市町と連携し、年間300万人乗車を目標に利用促進を図り、沿線住民や鉄道ファン等に広くPRすることにより、一層の利用を促進

①記念シンポジウムなどの開催ほか、80周年記念イベントの実施

○播磨科学公園都市を核とした道路ネットワークづくり

播磨科学公園都市を核とした、放射状道路とダブルの環状道路による幹線ネットワークを形成し、救命・救急活動や緊急物資の輸送等の役割を果たす災害に強い道路網の形成を推進

市町	事業箇所
相生市	①(一)竜泉那波線(竜泉地区)
たつの市	②(主)網干たつの線 松原跨線橋(揖保町東用～栄) ③(一)岩見揖保川線((国)250号岩見交差点)
赤穂市	④(主)赤穂佐伯線(赤穂市西有年～上郡町竹万)
宍粟市	⑤(主)宍粟新宮線 滝川橋(山崎町下比地地区) ⑥(主)加美宍粟線(一宮町能倉地区) ⑦(農)基幹農道(蔦沢菅野地区)
太子町	⑧(国)179号太子道路(鷗地区) ⑨(主)太子御津線 茶ノ木踏切(太子町糸井地区)
上郡町	④(主)赤穂佐伯線(赤穂市西有年～上郡町竹万)
佐用町	⑩(一)上福原佐用線(佐用町山田地区)

エ) 播磨科学公園都市を核としたにぎわいの創出

【総括 KPI】・播磨科学公園都市内

昼間人口 : H31 300人増 (5%増) (H27.4 : 5,928人)

夜間人口 : H31 70人増 (5%増) (H27.4 : 1,410人)

【主な事業】

○ 播磨科学公園都市の魅力アップ

交流施設の整備等により、播磨科学公園都市へひと、企業が集まり賑わいのあるまちを創出

- ①交流拠点施設（道の駅）の整備（500,000千円）
- ②サッカー場の増設（900,000千円）
- ③農水産物直売イベントの開催（1,000千円）
- ④光都スポーツDEふれあいたい会の実施（500千円）
- ⑤ラッピングバスによるまちの魅力発信（1,180千円）

(2) 地域の元気づくり

西播磨の人口の少子高齢化はもとより、近年、産業・観光面では、西播磨管内における市町内総生産及び観光客数についても全県より減少しており、西播磨地域の活力の低下が課題となっている。一方、この間における第1次産業については、市町内総生産が12.1%増加するなど、自然豊かな西播磨地域としての特徴も見られる。

このため、自然や歴史など西播磨の魅力を活かした個性あふれる事業を展開するとともに、管内市町の取り組みを支援することにより、地域活力の維持を図る。また、地域の安全・安心を高めるため、地域防災力の向上、有害鳥獣対策、「認知症カフェ」立上げ支援を進めるなど、高齢者をはじめ、地域の全ての住民が健康で楽しく安全に暮らせる社会体制の構築を目指す。

ア) 西播磨の地域資源を活かした定住・交流人口の拡大

【総括 KPI】 ・ 西播磨地域における観光入込数

H31：7,000千人 (H25：6,635千人)

・ 西播磨地域の観光消費額

H31：575億円 (H25：547億円)

【主な事業】

(1) 「ふるさと西播磨」の魅力の発信

○ 西播磨ツーリズムの総合的な推進 (3,500 千円)

西播磨ツーリズム振興協議会を中心に、西播磨地域の豊かな自然や歴史、体験・交流イベントなどの多彩なツーリズム資源を活用し、西播磨のツーリズムを振興

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
西播磨地域 観光入込数	6,635 千人 (H25)	6,724 千人	6,791 千人	7,000 千人

○ 兵庫・岡山県際交流の推進 (1,500 千円)

兵庫・岡山県際地域の活性化を図るため、共通のツーリズム資源を活用した交流事業を、岡山県(備前県民局、美作県民局)、関係市町等と連携して実施

○ 西播磨フロンティア祭 2016 の開催 (5,000 千円)

交流による「元気・西播磨」を目指し、新都市の賑わい創出と周辺地域との連携・交流を深めるため、「西播磨フロンティア祭 2016」を開催

○ 西播磨楽農大学による都市農村交流の促進 (2,950 千円)

西播磨の農林水産業や農山漁村での営みそのものを学習フィールドとして、農林漁業者等と都市住民の体験型交流を促進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
登録楽生数	272 人(H26)	500 人 613 人	700 人	1,000 人

(2) 地域の魅力を高めるまちづくりの推進

- 国道 179 号竜野橋（県管理）の整備（10,000 千円）

揖保川右岸の龍野城など歴史的町並みと、左岸のたつの市中心市街地とを連絡する竜野橋を播磨の小京都「龍野」の玄関口として整備

- 塩の国・赤穂復活事業（11,000 千円）

県立赤穂海浜公園に、全国的に希少な流下式製塩施設等を整備し、伝統的製法による「赤穂の塩」を地域資源として活用

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
赤穂海浜公園 入園者数		530 千人	532 千人	540 千人
	530 千人 (H26)	558 千人		

- JR 赤穂線沿線地域の活性化（1,050 千円）

兵庫、岡山県と沿線 4 市等で構成する「JR 赤穂線沿線地域活性化連絡会議」を中心に、沿線地域の魅力発信・賑わいを創出

- 氷ノ山ツーリズムの振興（10,000 千円）

西播磨側からの氷ノ山観光の取り組みをさらに推進するとともに、鳥取県等と連携し、氷ノ山を活用した交流事業を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
道の駅はが 利用者数		34,500 人	35,000 人	36,500 人
	33,962 人 (H26)			

- 音水湖の西日本一のカヌー競技場づくり（11,000 千円）

全国でも有数の 1,000m コースを有する「音水湖カヌー競技場」の会場環境を整備し、国内の大規模カヌー競技大会、関西ワールドマスターズゲームズ、東京五輪の合宿等を誘致

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
カヌー施設 利用者数		8,000 人	8,500 人	10,000 人
	7,400 人 (H26)			

- 森林セラピー健康の里づくり（10,000 千円）

県下初の宍粟市の森林セラピー事業が、県民全体の健康づくりの里として、広く利活用が促進されるよう市の事業実施を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
セラピー体 験者数		300 人	1,000 人	3,000 人
	-			

- 国道 29 号周辺地域活性化の推進（2,000 千円）

宍粟市や沿線市町と連携し、交流・情報発信事業の実施や住民主体による地域づくりの取組を支援

○ 宿場町平福を中心としたまちづくりの支援 (5,400 千円)

平福・瓜生原邸を核としたまちづくり、道の駅「宿場町ひらふく」の魅力向上及びしゃくなげが彩る「宿場町平福」景観づくりを支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
宿場町ひらふくの観光客入込数	93 千人 (H26)	93 千人 95 千人	94 千人	100 千人

○ 「落ちない城・白旗城」PRプロジェクト事業 (5,000 千円)

赤松円心の居城で、難攻不落の名城であった国指定史跡「白旗城跡」を新たな観光拠点とするために、「落ちない城・白旗城」PR活動を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
上郡町の観光客入込数	320 千人 (H26)	324 千人	327 千人	337 千人

○ 金出地ダム自然植物公園の整備 (4,500 千円)

地域の魅力を活かして活性化を図るため、地元・上郡町・県の協働のもと、遊歩道、自然植物公園の施設等を整備

イ) 農林水産業の活性化

【総括 KPI】・西播磨地域における農林漁業体験や農業集落との交流事業による交流人口

H31 : 1,500 人/年 (H26 : 630 人/年)

・西播磨地域における第 1 次産業の市町内総生産

H31 : 114 億円 (H25 : 102 億円)

・地域内の木材(素材)生産量

H31 : 160 千 m^3 /年 (H25 年 : 91 千 m^3 /年)

【主な事業】

○都市部アンテナショップによる西播磨ファンづくり

西播磨地域のイメージ向上・特産品等の販路拡大、交流人口の増加を図るため、アンテナショップ「西播磨ふるさと特産館“好きや de 西播磨”」において、特産品や新鮮野菜の販売、観光・移住情報の発信等を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
一日あたり来館者数	165 人 (H26)	250 人	300 人	

○さよう桃源郷づくりの推進 (1,500 千円)

佐用町の小規模集落等において、集落と企業の連携、もも・花もも等の植栽、交流イベントの開催等を支援し、西播磨北部の中山間地域の活性化を推進

①集落と管内企業の援農・交流活動のマッチングを支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
企業連携集落数	3 集落 (H27)	3 集落 3 集落	4 集落	7 集落

○西播磨ブランドの育成・創造支援（6,250千円）

安全・安心で環境に配慮した、西播磨地域の特産物の生産を拡大し、その魅力を「西播磨ブランド」として情報発信

- ア たつの市御津町干拓地野菜（だいこん、にんじん）産地の強化・育成
- イ 佐用町もち大豆「夢さよう」の商品開発、PR
- ウ 相生市あいおいも（キャッサバ）のブランド化支援
- エ たつの市赤とんぼ米の取組拡大

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
ひょうご安心ブランド 及びひょうご推奨ブラン ド作付面積		330 ha	706 ha	879 ha
	330 ha (H27)	330 ha		

○西播磨フードセレクションの開催（3,500千円）

西播磨地域の優れた加工食品を選定・表彰、選定食品をPRすることで、生産意欲の向上と食品のさらなる質の向上を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
応募食品数		70件	70件	80件
	54件 (H27)	54件		

○西播磨木材利用住宅建築の促進（2,550千円）

西播磨産木材を利用した住宅建築を促進するため、構造材として西播磨産木材を一定割合以上利用した木造住宅等の建築に対して支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
西播磨産木材 利用住宅新築 数		60棟	65棟	65棟
	56棟(H26)	57棟		

○木質バイオマス発電施設への木材安定供給（2,600千円）

木質バイオマスを活用して行う発電や発電用燃料の生産事業者を対象に、新たに起業・事業の拡充に伴う雇用に対して支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
木質バイオ マス供給量		20,000 t	20,000 t	20,000 t
	20,000 t (H27)	25,805 t		

○西播磨地域「木の駅」活動支援事業（1,200千円）

森林所有者等が自ら伐採した間伐材や森林内に放置されている未利用木材を、薪や木質ペレット原料として販売するために、未利用木材の収集買取システムである「木の駅」を運営する団体に対して、木材の買取費用の一部を支援

- ①年間買取量：600ト/1団体
- ②実施団体数：森林組合等2団体

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
実施団体数		1団体	2団体	2団体
	1団体(H27)	1団体		

ウ) 安全・安心な社会づくり

【総括 KPI】・「兵庫県の豊かさ指標」県民意識調査による「住んでいる地域の災害に対する備えは、以前より確かなものになっていると思う人の割合」

H31 : 45% (H26 : 39.6%)

・兵庫県のシカ年間捕獲目標 H28 : 45,000 頭

(H22~24 : 30,000 頭、H25~27 : 35,000 頭、H28 : 45,000 頭)

・認知症カフェの設置数

H31 : 27カ所 (H26 : 16カ所)

・質の高い口腔ケアに取り組む介護老人福祉施設数

H31 : 28施設 (100%) (H25 : 9施設 (32.1%))

【主な事業】

(1) 地域で取り組む防災対策の推進

○総合治水推進計画に基づく治水対策の推進

西播磨西部（千種川流域圏）及び西播磨東部（揖保川流域圏）地域総合治水推進計画に基づき、河川下水道対策「ながす」、流域対策「ためる」、減災対策「そなえる」の取組を重点的に実施

ア 校庭貯留の推進

※佐用高校、相生産業高校、伊和高校

イ 田んぼダムの取組拡大 (H26 240ha→H28 年度 900ha) (西播磨全域)

ウ ため池（新池（相生市千尋町））の治水利用

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
田んぼダム取 組面積	242 ha (H26)	340 ha 595 ha	900 ha	1400 ha

(2) 野生動物による被害対策の推進

○西播磨シカ捕獲・利用促進

①シカ捕獲対策の実施

農林業被害の軽減と被害地域拡大の抑制を目的として、シカ捕獲対策を実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
シカ捕獲頭数	13,552 頭 (H26)	9,200 頭 —		

②シカ捕獲を担う狩猟者の育成 (300 千円)

若手ハンター養成教室の開催 (5~10 月、狩猟の魅力講話や関係法令の講義、狩猟見学等)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
銃猟免許取得 養成者 (累計)	10 人 (H27)	10 人 10 人	20 人	50 人

③シカ肉の利用拡大の推進（1,020千円）

シカ肉の飲食店、学校給食、家庭料理での食用向け利用拡大やドッグフードへの活用など需要拡大を推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
シカ肉流通 消費量		10.0 t (714頭)	11.0 t (786頭)	14.0 t (1,000頭)
	7.7 t (H26)	9.9 t (705頭)		

※ 目標は単年度、()内は14kg/頭で換算した頭数。

(3) 高齢者・障害者の元気な暮らしを実現

○ 地域に根づく高齢者口腔ケアの仕組みづくり（1,000千円）

- ①地域活動歯科衛生士養成講座の開設等
- ②口腔ケア優良施設表彰の実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
高齢者口腔ケ アに従事する 地域活動歯科 衛生士数		7人	10人	13人
	7人 (H27)	7人		

○ 「認知症カフェ」の立ち上げ支援（1,500千円）

認知症の人と家族への支援を図るため、管内市町に対し、認知症カフェの立上げを支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
認知症カフ ェの設置数 (累計)		23件	30件	33件
	16件(H26)	27件		

○ 認知症高齢者に対する効果的な機能訓練の推進（1,200千円）

認知症高齢者が住み慣れた地域（住居）で生活ができるようにするため、通所介護事業所の機能訓練指導員等が認知症高齢者に対する効果的な機能訓練を行えるよう、平成26年度に開発した「認知症リハビリテーション標準プログラム」を普及啓発

- ア 通所介護事業所に対する研修
- イ 指導者養成研修(作業療法士、認知症看護認定看護師等対象)の実施（10人程度）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
事業所研修 受講者数 (累計)		175人	275人	350人
	75人(H26)	325人		

但馬県民局地域創生アクション・プラン

(1) 人口対策

既存の産業活動の活性化や企業立地など若者にとって魅力ある仕事を創出するとともに、ブランド化など農林水産業の自立を図ることにより、雇用を含めた若者にとって魅力ある生活環境を創出し、但馬への定着・移住を進める「定住人口対策」に取り組む。

ア) 但馬は夢のフロンティア ～「あしたのふるさとに暮らそう大作戦」の推進～

【総括 KPI】

- ・但馬地域におけるU I ターン人口 推計値：450 人 [H26：300 人]

【主な事業】

(1) 学生等への企業情報の提供の強化

- 「但馬で働こう」大作戦の推進 (2,301 千円)

地元高校等と連携した但馬地域における産業の魅力発信や大学生等に対する但馬での就職支援を行う。

- ・夢但馬産業フェアへの地元高校生見学促進
- ・大学生に対する都市部での但馬合同企業説明会、就職面接会の開催
- ・大学等への情報発信 等

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
大学等への 情報発信	— (H27 新規)	350 校/年	350 校/年	350 校/年

(2) 地域の魅力発信の強化

- たじま暮らしの推進 (6,000 千円)

「但馬の多様な魅力」とU I ターン関連情報を総合的に情報発信し、交流人口の拡大とU I ターン等の定住促進を行なう。

- ・ホームページ、ガイドブックによる情報の一元集約・発信
- ・移住コンシェルジュ活動の支援
- ・移住相談員の配置 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
相談件数	220 件 (H26 年度)	220 件/年	250 件/年	250 件/年

(3) 子育て環境の充実

○但馬出会いサポートセンターの運用

少子化につながる未婚化・晩婚化を防ぐため、社会全体で出会いや結婚を支援する。

- ・はばたん会員制度のPR、お見合いの提供
- ・このとり大使（ボランティア）の企画による縁結び交流会の開催 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
成婚数 (累計)	12組(累計) (H26年度)	16組	20組	32組

(4) 定住のための住まいの確保

○ 空き家バンクへの空き家情報の登録

但馬地域へのUIターンを考えている人に空き家情報を届ける。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
相談件数	220件 (H26年度)	220件/年	250件/年	250件/年

※「たじま暮らしの推進」と同目標

○ 空き家活用や古民家再生の支援

一戸建て空き家を住宅、事業所、地域交流拠点として活用するための改修費等を助成する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
助成件数	3件 (H26年度)	3件/年	3件/年	3件/年

(5) 地域産業の活力強化

○夢但馬産業フェア 2016 の開催（2,000 千円）

但馬全域の企業が一堂に会する産業イベント「夢但馬産業フェア」を引き続き開催し、企業情報の発信、企業取引機会の拡大及び明日の但馬を担う若者のUIターン促進等を総合的に推進する。

- ・ 開催場所：豊岡市総合体育館、体育館前広場
- ・ 開催日程：平成 28 年 9 月 30 日、10 月 1 日
- ・ 実施内容：企業ブース（屋内・屋外）、基調講演・セミナー 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
出展企業数	100社/年 (H26年度)	110社/年	110社/年	110社/年

(6) 農林水産業における雇用の場の確保

○ “但馬生まれ但馬育ち” 但馬牛の生産基盤の強化（2,926 千円）

但馬牛生産基盤の強化を図るため、但馬全域での堆肥等の需給調整・広域流通システムの構築や放牧等を推進する。

- ・ レンタカウ方式による放牧の推進

・但馬牛耕畜連携流通システムの確立

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
繁殖雌牛飼 養頭数 (累計)		4,000 頭	4,020 頭	4,100 頭 (H32 年度)
	3,960 頭 (H26 年度)			

○山林地籍調査法人人材育成の支援（850 千円）

山林地籍調査の進度アップを図るために、専門的な知識を有する人材の育成に必要な研修費用等を助成することにより、地籍調査を適確に実施できる法人を育成し、新たな雇用を創出。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規資格取 得者数 (累計)		50 人	65 人	100 人
	— (H27 新規)			

○木材安定供給システムの構築（408 千円）

木質バイオマス発電事業のスタートを契機に、木材の安定供給システムの構築に向けて、森林組合・民間事業者の人材育成を支援する。

- ・27 年度実施の業務改善研修のフォローアップ、技術研修の実施
- ・高性能林業機械の技術研修、林業経営改善コンサルタントによる指導支援。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規民間事 業体雇用者		—	6 人 (H31 年次)	6 人 (H31 年次)
	— (H28 新規)	—		

(7) 魚のまち但馬の再生

○沖合漁船船員育成定着の促進（8,210 千円）

漁業就労の未経験者を対象として、沖合漁業の操業における現場研修等にかかる費用を助成

- ・事業主体：兵庫県機船底曳網漁業協会、漁協、沖合底曳き網漁業等の経営体

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度 (目標)	H28 年度 (目標)	H31 年度 (目標)
育成数		5 人/年	5 人/年	5 人/年
	3 人/年 (H26 年度)			

○沖合底びき漁船の漁獲物高鮮度流通促進の支援（20,000 千円）

高性能な船内凍結機や保冷機能付きの活魚水槽等を備えた漁船の導入による、高鮮度な水産物の供給等の高鮮度流通の実証試験に要する経費の一部を支援

○沖合底びき漁船の更新支援（90,000 千円）

沖合底引き網漁業者等が新たに漁船を更新する場合の負担を軽減するため、漁協等が貸与に必要な漁船、鮮度保持施設等の購入・整備にかかる費用を助成

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
更新船数	— (H28 新規)	—	3 隻/5 年	3 隻/5 年

○新規沿岸漁業の導入推進 (2,880 千円)

大型定置網漁業が廃業した漁場等において新たな漁業種類を導入し、漁場の有効活用を図るとともに、沿岸漁業の再興による水揚げ魚種の増加や漁村地域の活性化を図る。

- ・かご漁業等による試験操業の実施 (対象魚種：マアジ、マダイ、ブリ、シロイカ等)

○沿岸イカ釣り漁場探索の支援 (1,260 千円)

近年、漁場の形成が不安定化している沿岸イカ釣り漁業について、イカの魚群分布状況の把握、データの集約等を行い、沿岸イカ釣り漁業の漁場探索を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
沿岸漁業漁 獲高	306 トン/年 (H26 年度) (H28 新規)	—	306 トン/年	357 トン/年

(8) 地域を支える社会基盤整備の推進

○住みやすい地域を支える社会基盤整備

日常生活における人々の移動を支えるために、歩道整備や交通困難箇所の解消、冬期の交通確保を推進する。また、地域の主産業である農林水産業を支えるために、林道・農道の整備や漁港の整備、漁港海岸の整備を推進する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
歩道整備等 整備箇所数 (累計)	(社基プロ等 に基づく)	7 箇所	14 箇所	31 箇所 (H30 年度)

○定住を促進する地域の安心安全確保

河川対策、山地防災・土砂災害対策、道路防災対策の推進により、多発する自然災害から地域の安全を守る社会基盤整備を進める。また、災害等の緊急時に備え、緊急輸送道路等の整備や、孤立集落を発生させない道路の整備を推進することにより地域の安心を確保する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
防災対策等 整備箇所数 (累計)	(社基プロ に基づく)	13 箇所	20 箇所	92 箇所 (H30 年度)

イ) スパイスの新世界ブランド ～朝倉さんしょによる儲かる農業の実現～

【総括 KPI】

・但馬地域における朝倉さんしょ及び関連商品の販売額：430 百万円 [H26：12 百万円]

【主な事業】

(1) 生産体制の強化

- 高品質な「朝倉さんしょ」産地の確立支援 (3,000 千円)
苗木の安定生産、鮮度保持など品質管理システムの検討
- 出荷調製機械（軸取り機）の開発支援 (1,364 千円)
生産拡大に対応すべく、機械メーカーによる新たな機械開発を促すとともに生産者団体等の導入を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新植本数(累計)	8,613 本 (H26 年度)	1 万本	1 万 2 千本	2 万本

(2) 世界ブランド化に向けた構想づくり

- ブランドの育成 (2,400 千円)
新たな需要開拓のための P R 活動への支援
 - ・ブランド化基本構想を策定するための取組支援
 - ・産地プロモーション用 DVD の作成

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
EU 加盟への 輸出	— (H27 新規)	1 カ国	2 カ国	5 カ国

(3) 但馬における朝倉さんしょ関連産業の育成

- 関連産業の育成 (2,881 千円)
生産拡大に見合った販路確保のため、新商品や新メニューの開発につながる加工試験、輸出相手国のニーズに合った新商品開発や輸出関連手続きへの支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新商品・新メ ニュー開発数	33 商品 (～H26 年度)	3 商品/年	3 商品/年	3 商品/年

(4) 就農促進の支援・検討

- 次世代の担い手を育む農業法人設立の検討 (300 千円)
都市部の若者等の雇用就農受入拡大に向けた農業法人設立の検討

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
新規就農者 数	34 人/年 (H26 年度)	36 人/年	36 人/年	36 人/年

(2) 地域の元気づくり

地域資源を活かした誘客、域内の周遊性向上、リピーター客の確保を始め、インバウンド対策の推進、一円電車の復活や山陰海岸ジオパークなど地域資源を磨くことによって、裾野が広く波及効果が高い観光産業を振興し「交流人口の拡大」を図る。

ア) 但馬への誘い ～但馬周遊ツーリズムの推進～

【総括 KPI】

- ・但馬地域への入込客数：1,180 万人 [H25：1,060 万人]

【主な事業】

(1) 「但馬の魅力」情報発信の強化

- 「但馬と出会う」映像系情報の戦略的発信 (25,832 千円)

但馬地域の魅力を映像化し、様々なメディアを活用して情報発信を行ない、但馬地域のイメージアップや観光誘客促進につなげる。

- ツーリズム EXPO ジャパン 2016 への出展 (5,000 千円)

竹田城跡、城崎温泉、但馬牛等、但馬地域の魅力的な地域資源を、首都圏において一体的に PR する。

- ・ 開催時期：平成 28 年 9 月 22 日～9 月 24 日
- ・ 開催場所：東京ビックサイト 東展示棟・会議棟

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
但馬の認知度	70.7% (H27 年度)	70.7%	72%	75%

- コウノトリ野生復帰 PR 活動の推進 (1,505 千円)

コウノトリ野生復帰への支援を広く全国から求め、コウノトリと共生する地域づくり活動の広がりをもより確かなものとしていく。

- ・ コウノトリ野生復帰 PR の推進
- ・ コウノトリファンクラブへの支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
コウノトリファンクラブ会員数	649 人 (H26 年度)	620 人	650 人	650 人

(2) 周遊性の拡大と新たなツーリズムの促進

- 夢但馬周遊ツーリズムの推進 (22,854 千円)

但馬地域の多様な観光資源を一体的にアピールし、交流人口を拡大するため、①ビジット但馬 (但馬への誘客)、②プラスワン但馬 (周遊観光の強化)、③ワンスモア但馬 (リピーターの確保) の 3 ステップによって、交流拡大と地域活性化を図る。

- ・ 但馬広域観光キャンペーンの実施
- ・ 高速バスへのラッピング広告
- ・ 夢但馬周遊バス “たじまわる” の運行

・フットパス in 但馬の導入 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
たじまわる 乗車人数	6,000 人 (H26 年度)	7,200 人	8,000 人	10,000 人
フットパス コース数	— (H28 新規)	—	5 コース (H31 年次)	5 コース (H31 年次)

○山陰広域観光キャンペーンの推進 (9,241 千円)

山陰海岸ジオパークなど、日本海沿岸の観光資源の魅力を発信し、観光客を誘致するため、京都府・兵庫県・鳥取県、関係市町等の連携による広域的な取組を実施する。

- ・山陰海岸ジオパーク周遊キャンペーンの推進
- ・3 府県広域観光交流圏における誘客の促進
- ・因幡・但馬・丹後広域観光キャンペーンの推進 (※KPI はジオパークで記載)

(3) お菓子の里 (たじまスイーツ王国) づくりの推進

○お菓子の里づくり推進体制の整備 (288 千円)

但馬まるごと感動市において、但馬夢テーブル委員会による T A J I M A スイーツ高校生バトルの開催を支援するなど、お菓子で但馬を盛り上げる活動を展開する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
スイーツバ トル応募数	14 件/年 (H26 年度)	15 件/年	16 件/年	16 件/年

(4) 外国人観光客の受入体制の強化

○外国人観光客受入の推進 (5,607 千円)

城崎を中心に急増している外国人観光客のさらなる誘客を図るとともに、但馬全域での受入体制確立に向けた取組を推進する。

- ・山陰海岸ジオパーク A R (拡張現実) アプリ・コンテンツの作成
- ・外国人観光客への情報発信の強化
- ・A L T (外国語指導助手) 等在住外国人からの意見聴取

○海外における情報発信の強化 (1,800 千円)

海外から但馬地域へのさらなる誘客を促進するため、欧州を中心に但馬の観光情報等の発信強化を図る。

- ・W T M (World Travel Market) 2016 への出展
- ・ミラノ万博を契機とした但馬 P R 活動

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
外国人観光 客数	1.3 万人泊/年 (城崎のみ) (H26 年度)	3 万人泊/年	4.8 万人泊/年	10 万人泊/年

(5) 自然環境等を活かした交流の促進

○希少動植物の保全及び交流促進活動への支援（1,614千円）

但馬の生物多様性を維持するため、希少動植物の保全活動への支援を行うとともに、高原等の自然環境を守る担い手育成をめざした交流促進活動等を支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
保全活動等の 実施回数	10回/年 (H26年度)	12回/年	14回/年	20回/年

(6) 交流を支える社会基盤整備の推進

○高速交通ネットワークの整備

但馬地域と京阪神都市圏及び環日本海地域相互の交流と連携を強化し、山陰海岸ジオパークのアクセシビリティや周遊性を高める等、但馬地域の活性化を促進するため、北近畿豊岡自動車道や山陰近畿自動車道の整備を推進する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
北近畿豊岡自 動車道の供用 延長割合	69% (H26年度)	69%	82%	82% (H30年度)
山陰近畿自 動車道の供用 延長割合	29% (H26年度)	29%	29%	50% (H30年度)

イ) ネットワーク型オープンミュージアム ～「鉱石の道」プロジェクトの推進～

【総括 KPI】

・「鉱石の道」エリアへの年間来訪者：5万人〔H26：約2.1万人〕

【主な事業】

(1) 一円電車の復活

○一円電車復活実現応援事業の実施（5,080千円）

軌道敷の測量、安全対策、一円電車車両の整備、一円電車運行組織の検討及び関連ソフト事業等の地元団体が実施する一円電車復活の取組みを支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
支援団体数	— (H28 新規)	—	1 団体/年	2 団体/年

(2) 生野地区など拠点エリアの賑わい創出

○近代化産業遺産周遊ツアーの推進（500千円）

夢但馬周遊バス「たじまわる」の特別便「鉱石の道号」の運行や、銀の馬車道ネットワーク協議会と連携した「明延鉱山から飾磨港まで」の近代化産業遺産を巡る周遊バスツアー

一等を実施する。

- ・たじまわる鉱石の道号の定期運行
- ・銀の馬車道ネットワーク協議会との連携促進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
鉱石の道号 運行回数	— (H27 新規)	1 回/年	2 回/年	8 回/年

(3) 「鉱石の道」資源の積極的活用

○鉱石の道エリア整備への支援 (2,024 千円)

「鉱石の道」を構成する各エリアでの「鉱石の道」資源を生かす施設整備を支援し、各エリアの魅力アップによる相乗効果を高めることで「鉱石の道」エリア全体の魅力向上と一体感を形成する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
整備箇所数	1 団体/年 (H26 年度)	1 団体/年	1 団体/年	1 団体/年

(4) 広報 PR 活動の強化

○鉱石の道を活用した交流拡大事業の推進 (1,586 千円) 【地域政策】

鉱石の道ガイドの活用、鉱石の道関連イベントの支援等により鉱石の魅力をPRし、交流人口の拡大を図る。

- ・鉱石の道ガイドの活用・能力向上
- ・鉱石の道地域イベントへの支援
- ・鉱石の道ツアー商品等の企画・開発

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
公式HP 訪問者数	6,447 人/年 (H26 年度)	10,000 人/年	12,000 人/年	15,000 人/年

(5) 周遊性の確保と広域連携の推進

○近代化産業遺産周遊ツアーの推進 (500 千円) 【再掲】

夢但馬周遊バス「たじまわる」の特別便「鉱石の道号」の運行や、銀の馬車道ネットワーク協議会と連携した「明延鉱山から飾磨港まで」の近代化産業遺産を巡る周遊バスツアー一等を実施する。

- ・たじまわる鉱石の道号の定期運行
- ・銀の馬車道ネットワーク協議会との連携促進

ウ) 目指せ世界一のジオパーク ～世界に誇る山陰海岸ジオパークの実現～

【総括 KPI】

- ・山陰海岸ジオパーク拠点施設の入込者数
: 70 万人 [H26 : 59.2 万人] (エリア全体 : 200 万人 [H26 : 169 万人])

【主な事業】

(1) 情報発信の強化

○山陰海岸ジオパーク周遊キャンペーンの推進 (12,643 千円) 【再掲】

山陰海岸ジオパーク推進協議会の構成団体である 3 府県 6 市町の連携事業として、認知度の向上、魅力の発信及び観光客誘致等の取組を一層推進

- ・レンタカー活用によるエリア内周遊の促進
- ・首都圏・京阪神 P R キャンペーンの実施
- ・外国語版 (中国語・韓国語) パンフレットの作成
- ・ホームページ英語版の充実
- ・山陰海岸ジオパーク A R (拡張現実) アプリ・コンテンツの作成 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
公式 H P 訪問者数	98,991 人/年 (H26 年度)	10 万人/年	10.5 万人/年	12 万人/年

(2) ジオツーリズムの推進強化

○山陰海岸ジオパーク活動の推進 (7,256 千円)

山陰海岸ジオパーク推進協議会を中心に、関係府県、地元市町並びに関係団体と連携し、ジオパーク活動を強力に推進して地域の活性化を図る。

- ・拠点施設の展示充実
- ・ジオパークガイドの魅力アップ支援
- ・ジオパークフェスティバルの開催
- ・散策モデルコースパンフレットの作成 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ジオパークフェス参加者数	7 千人/年 (H26 年度)	7.6 千人/年	8.2 千人/年	1 万人/年

(3) ジオパークの地域資源を活用した産業の振興

○山陰海岸ジオパークビジネスの推進 (1,496 千円)

山陰海岸ジオパークの地域資源を活用した魅力あるビジネスの展開を促進し、ジオパークエリアにおける地域の活性化を図る。

- ・地域資源を活用した新商品や体験メニュー開発への支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
支援件数	3 件/年 (H26 年度)	13 件/年	14 件/年	15 件/年

(1) 人口対策

2060年の丹波地域の推計人口は、全県(△19.5%)を大きく上回る減少(△37.7%)が予測され、年齢階層ごとの人口の転出入状況は、15～24歳層で大幅な転出超過となっており、若年層及び子育て世代の地域への定住・移住が課題である。

産業構造としては、全県と比較して第1次、第2次産業の占める割合が大きいが、農家数、農業生産額全体が減少し、農業の担い手・後継者不足も課題となっている。

このため、都市部の若年層及び子育て世帯を対象に、丹波地域で元気に活躍する移住者等が、子育て期間中には丹波で暮らすことの価値を発信し、相互に顔の見えるネットワークを広げ、移住・環流を促進する。また、子どもを産み育てる世代が地元で働き、安定した収入を得て出産・子育てができるよう、地元就職を促進するとともに、農業分野での新たな雇用の創出や、新規企業立地を促進する。

ア) 働きたい 暮らしたい ふるさと丹波 ～地元での雇用・就業とUJI ターンの促進～

【総括 KPI】

- ・丹波地域における若年層(15歳以上35歳未満)の雇用創出数：5年間で600人
- ・丹波地域における農業分野への企業参入：12企業〔H22-26累積：7企業〕
- ・丹波地域における若年層・子育て世代の移住者数：25世帯(5年間)
〔3年間平均(H24-26)：3世帯/年(※丹波市・篠山市の相談窓口での把握可能数)〕

【主な事業】

(1) たんば移住・環流プロジェクトの推進

○たんば移住・環流プロジェクトの推進(6,000千円)

都市部の若者・子育て世帯をターゲットに、丹波地域の特長である、人の繋がり・温もりや、豊かな自然の中での暮らしの魅力を伝え、子育て期間中に丹波で暮らすことの価値を提案することにより、移住・環流(※)を促進する。

※環流；ライフサイクル中の子育て期間中に丹波地域で居住すること

- ・「たんば暮らしファン交流拠点(Tanfes(たんふえす)※)」による移住・環流の促進

※「Tanfes(たんふえす)」=「Tanbakurashi fan exchange station」

設置場所：丹波地域(活動は都市圏(主に大阪・阪神間))

実施事業：「たんば元気人材バンク」設置

大都市圏域でのセミナー、ファン交流カフェの開催

ソーシャルメディア等を活用した「たんば暮らしファンNET」構築・拡大

- ・移住・環流を促進する地域内の推進体制の整備

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
若年層・子育て世代の移住世帯数(累計)	年3世帯※ (H24～26平均)	5世帯	10世帯	25世帯

※丹波市・篠山市の相談窓口での把握可能数

(2) 地元での雇用就業の促進

○丹波ふるさと人材確保支援事業（316千円）

県民局、柏原公共職業安定所、市、商工会、丹波雇用開発協会、管内7高等学校による「丹波地域人材確保協議会」を設置し、若者の地域定着やU・Iターンの促進を図る。

・若者と地元企業のマッチング応援事業

就職フェア in たんば、企業紹介フェア、高校生対象企業紹介セミナー、企業と大学等の就職情報交換会 等

・丹波地域人材確保協議会の開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
若年層(15～35才)の雇用創出数(累計)	—	120人 未確定	240人	600人

※全県の目標雇用創出数（地域創生戦略）：22,500人

事業所数：丹波 5,328/全県 218,877=2.4%

22,500×2.4%=540人 のさらに1割増=600人

○企業誘致プロモーション事業（212千円）

篠山市、丹波市の企業誘致活動を支援するため、問題解決の調整、企業情報の収集、提供等を実施するなど、関係機関と連携した活動を行う。

・両市等との連携による企業誘致活動

・工場適地広報

・工場計画情報収集

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
企業立地(新増設)件数(累計)	—	10件 8件(見込)	20件	50件

※「ひょうご本社機能立地支援計画」

○たんば女性の元気活躍応援事業（1,420千円）

子育て中の女性等が社会に出て活動するために必要なスキルの習得の支援と、社会活動を開始するまで間の様々な課題解決や悩み等に関する相談対応を行うことにより、たんばの女性が社会で元気に活躍することを応援する。

・セミナー、実践スキル習得講座等（初級応援コース、実践応援コース）の開催

・相談・アドバイスの実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
セミナー・講座参加者数(単年度)	—	120人	240人	240人

○農業集落と企業との連携による雇用創出（2,000 千円）

企業の農業参入を進め、企業自ら丹波ブランド農産物の生産拡大に取り組むことで、丹波地域内の農業分野の雇用創出が図られるよう、主として地域内企業を対象とした農業参画の意向調査を実施する。

（調査結果をふまえ、次年度以降、企業と農業集落との個別コーディネートを予定）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
丹波地域における農業分野への企業参入(累計)		—	意向調査実施	5 企業
	7 企業 (H22-26 累積)			

(2) 地域の元気づくり

丹波地域では、H元年に策定された「丹波の森構想」に基づき、人と自然と文化が調和した地域づくりの取組を重ねてきた。その後、H21年の丹波の森構想の検証、H23年の丹波地域ビジョンの改訂では新たな課題も提示され、将来にわたって丹波地域の活力を維持し高めていくには、上記の構想の検証における提言や地域ビジョンで明らかにされた課題を踏まえ、丹波らしい地域の元気づくりに向けた取組を進めていく必要がある。

このため、重点的な取組として、“丹波ブランド”の育成と活用による産業振興、“丹波ファン”拡大による交流の促進、丹波地域の安全安心の向上を推進する。

ア) 広めたい 高めたい ふるさと丹波 ～“丹波ブランド”の育成と活用による産業振興～

【総括 KPI】

- ・丹波地域におけるブランド産物の担い手確保

新規就農者及び新規参入法人数（丹波地域就農支援台帳の新規登録数）： 100 人(H32)
〔H21～H26 年累積：54 人〕

認定農業者数(※丹波地域農林ビジョン 2020)： 200 経営体(H32) 〔H26：162 経営体〕

【主な事業】

(1) 丹波ブランド産物の生産振興・ブランド力の向上

- 丹波ブランド産物の生産振興・ブランド力の向上（4,000 千円）

丹波の農産物のブランド力は高く評価されているものの、生産力に課題があることから生産振興を図るとともに、農産物の高付加価値化（一次加工、菓子加工等）や集客につながる取り組みをさらに促進し、ブランド力をより強固なものにし、的確な需要への対応や新たな需要の創出を推進する。

- ・丹波栗の生産・加工・販売までの一体的な取組を進める「丹波栗の里」整備の推進
- ・高級ホテル・レストラン等のプレミアム需要への生産・加工・流通の試行

- 「丹波栗の郷（仮称）」づくり推進事業（18,945 千円）

“日本一の丹波栗産地の復活”の実現に向け、生産基盤の整備、丹波栗を活かしたビジネスモデルの創出、丹波栗を核とした交流を図り、丹波栗の再生とともに丹波栗を核とした、農・観・商工連携による地域の活性化や丹波のイメージアップを図る。

- ・丹波栗の生産基盤の整備：
栗園の整備（新植、改植、大規模剪定）、生産用機械等整備、苗木生産体制整備
- ・丹波栗ブランド向上推進：
丹波栗再生戦略会議、産地復活・丹波ブランド向上研修会等の開催
- ・ビジネスモデル創出支援：
ビジネスモデルを開始する経費、必要な機械等の導入に対する経費を支援
- ・丹波栗を核とした交流：
食べ歩きフェア、スイーツコンテスト、生産者と加工業者等（シェフ・パティシエ含む）との意見交換会等の開催

○京都丹波と連携した丹波ブランド力の強化（1,085千円）

丹波産農産物のブランド強化のため、両府県、関係市町、関係団体等が連携しながら、知的財産登録によるブランド力の強化、丹波栗生産者交流会（広域品評会）、京阪神地域の消費者等へ食の魅力をもPRするフェア等を開催する。

- ・京阪神の商業施設での「大丹波味覚フェア」等の開催
- ・丹波栗生産者交流会の開催

（上段：目標、下段：実績）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
栗の新規植栽 面積(累計)		29ha	37ha	50ha
	21ha (H26年度)	未確定		

※「丹波地域農林ビジョン2020」

○丹波大納言小豆ブランド戦略推進事業（5,000千円）

丹波大納言小豆は高級和菓子等の材料として重用されているが、終了・品質が安定せず、実需者のニーズに答えられていないため、新技術導入による生産振興と、新たな需要喚起による海外進出も視野に入れたブランド化を推進する。

- ・ブランド力向上：推進体制（丹波大納言小豆ブランド戦略会議）の確立
- ・新技術導入：実証ほの設置、小豆乾燥システムの調査、排水対策用機械の導入支援
- ・新たな需要創出：飲食店による「丹波でしか味わえない善哉」の競演等の企画実行

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
小豆の作付面 積(単年度)		400ha	400ha	420ha
	362ha (H26年度)	未確定		

※「丹波地域農林ビジョン2020」

○魅力ある丹波産食材活用支援事業（1,350千円）

魅力ある丹波産食材を利用した農業の6次産業化を進めるため、セミナーの開催等による具体的なプランづくりの支援や人材育成等を進める。あわせて、新商品開発や、シカ肉の有効活用への支援を行う。

- ・6次産業化セミナー、売れる商品づくりセミナーの開催
- ・農産加工品等の開発支援
- ・シカ肉の学校給食の食材としての活用支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
農産加工品等 の開発支援 (単年度)		2商品	2商品	2商品
	—	6商品		

○「丹（まごころ）の里」活性化推進事業（1,000 千円）

丹波市、JA 丹波ひかみ、丹波県民局等が連携し、「丹の里・丹波市『秋の味覚フェア』」の開催や丹波市の農林産物の PR のため情報発信を支援し、丹波地域の魅力ある農林産物を核とした地域の活性化に資する。

- ・ 丹^{まごころ}の里・丹波市「秋の味覚フェア」の開催：H28 年 10 月下旬（予定）
- ・ ホームページ「農・森・人 NOW」による情報発信（アドレス：magocoro.tamba.sc）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
入場者数 (単年度)	—	15,000 人 16,000 人	20,000 人	—

○丹波すぐれもの大賞（624 千円）

丹波地域におけるものづくり産業の製造技術水準の向上と、優れた製品・商品の地域内外への普及・浸透を図るため、「丹波すぐれもの大賞」を授与し、受賞製品等を幅広く PR する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
受賞者数 (累計)	18 (H26 年度)	23 23	28	43

(2) 丹波ブランドを担う新規就農者等の育成・経営安定

○農業集落と企業との連携による雇用創出（2,000 千円）【再掲】

企業の農業参入を進め、企業自ら丹波ブランド農産物の生産拡大に取り組むことで、丹波地域内の農業分野の雇用創出が図られるよう、主として地域内企業を対象とした農業参画の意向調査を実施する。

（調査結果をふまえ、次年度以降、企業と農業集落との個別コーディネートを予定）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
丹波地域における農業分野への企業参入 (累計)	7 企業 (H22-26 累積)	—	意向調査実施	5 企業

○新規就農経営ステップアップ支援事業（469 千円）

新規就農の次の段階にある経営確立期の農業者を対象に、経営改善方策の具体化および実践に向けて技術力向上、経営力向上を図り、認定農業者を目指す新規農業者の育成を目指す。

- ・ 新規就農野菜経営ステップアップ講座の開催：技術力・経営力向上研修
- ・ 経営改善計画作成相談会の開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
研修・講座等の回数 (単年度)	—	7 回 7 回	8 回	8 回

イ) 伝えたい 招きたい ふるさと丹波 ～“丹波ファン” 拡大による交流の促進～

【総括 KPI】

- ・ 構想エリアに立地する「ちーたんの館」「丹波並木道中央公園」「元気村かみくげ」等の恐竜・哺乳類化石関連施設の来場者数：100,000 人 [H25(67,279 人)比 5 割増]

【主な事業】

(1) 丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの展開

○丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムの展開 (33,450 千円・H27 補正 10,000 千円)

恐竜・哺乳類化石等の発見地である篠山群層エリアを野外博物館（フィールドミュージアム）として位置づけ、エリア内の施設や自然資源を結び付け、一体化した取組みを推進する「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想」について、さらなる浸透、参加拡大を図るとともに、地域の力で資源を活かす仕組みづくりを進める。

・「川代溪谷ラインパーク（仮称）」エリアの充実：

化石発見地、公園など重要なスポットが集まり、構想内で特に重要なエリアと位置づけられている「川代溪谷」の地域資源の活用を促進する。

- ◇ 川代溪谷エリア利活用促進にかかるワークショップの実施
- ◇ 川代溪谷の景観保全意識醸成にかかる啓発、小中学生ポスターコンクール
- ◇ 川代トンネル掘削残土を活用した県民参加型化石調査の実施
- ◇ 環境学習の拡充、体験型ツアーの開発

・恐竜化石フィールドミュージアムの基盤整備：

- ◇ 既存施設の充実：丹波並木道中央公園内での展示・体験学習施設等の整備支援
- ◇ 人材の育成：県民参加型化石調査の指導を行う「恐竜化石専門員」の育成等
- ◇ 推進体制の整備：「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会」の設立

・川代溪谷ラインパークの景観保全：

- ◇ ワorkshop等の活用による市民と協働した景観対策
- ◇ 「てんぐす病」被害を受けた溪谷や沿道の桜対策による開花の維持
- ◇ 溪谷に漂着したゴミの撤去

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
恐竜・哺乳類 化石関連施設 の来場者数 (単年度)		87,462 人	94,190 人	100,000 人
	67,279 人 (H26 年度)	85,800 人		

(2) 大丹波連携の推進、観光情報の発信

○大丹波観光キャンペーンの展開 (1,700 千円)

京都府と兵庫県にまたがる丹波地域（2府県、6市1町）が、府県の枠を超えて連携した取り組みをさらに進め、地域の一体感のさらなる醸成と観光客の周遊を促進する。

- ・観光情報の全国発信：中京圏キャンペーン、首都圏からのファムトリップ実施等
- ・関西圏からの誘客促進：大丹波観光サポーターへの情報提供等
- ・管内交流促進による連携強化：各地域への「大丹波」パンフレット配架コーナー設置等

○webサイト「旅丹」活用事業 (3,198 千円)

丹波地域の自然、様々なイベント、人々を撮影したWeb写真集「旅丹～旅人が見たありのままの丹波路」の機能を拡充し、利活用性を高めるとともに、Webサイト内容の構築に広く県民・市民に参画を得るなどして、地域の魅力をさらに発信し誘客促進を図る。

- ・Facebook「旅丹」上でのフォトコンテストの開催、入選作品のWebサイトへの掲載
- ・スマートフォン対応Webページの作成
- ・Webサイト掲載写真の充実（300枚程度追加撮影）

○丹波地域観光情報の発信 (2,596 千円)

丹波地域の四季折々の観光情報を様々な媒体により発信し、丹波地域の認知度をさらに高め、誘客促進を図る。

- ・JR西日本情報誌「西Navi」への記事掲載：紙面2ページ購入（43万部発行）
- ・観光情報リーフレット「ぶらり丹波路」の発行：年4回発行（各15,000部発行）
- ・ホームページ「兵庫丹波グリーンツーリズムガイド～もりびとに、なろう～」の運営

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
丹波地域観光 入り込み客数 (単年度)	4,304千人 (H26年度)	4,390千人	4,477千人	4,750千人

※全県の目標観光入込客数（地域創生戦略）：毎年2%増

○「丹波ファン」拡大チャレンジ事業 (2,100・H27補正2,150 千円)

丹波地域の新たな魅力の発見・発掘や、既存の地域資源の新たな活用を通じ「丹波ファン」をさらに拡大する、より斬新性、創造性、チャレンジ性のある事業・取り組みを支援する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
支援件数 (単年度)	4件 (H26年度)	4件 5件	4件	4件

(3) 交流による地域活性化

○たんば交流実践リーダー育成モデル事業（1,000千円）

少子・高齢化、急速な人口減少に移住促進と相まって対応するため、県民交流広場実施団体の構成員の人材育成を行い、各地区の都市との交流等の取り組みの新展開を図る。

- ・ワークショップ（丹波地域在住者と都市居住者が参加）等による交流、リーダー育成
- ・まちづくり交流会での成果発表によるノウハウの共有、地域間交流の促進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
ワークショップ参加者数 (丹波地域在住者の累計)	—	—	20人	80人

○ふれあいの祭典丹波ふれあいフェスティバルの開催（6,700千円）

県立丹波の森公苑が20周年を迎える丹波地域を会場に、「地域、交流、共生」を理念とする「ふれあいの祭典“丹波ふれあいフェスティバル”」を開催し、丹波地域の魅力とひょうごの元気を発信する。

- ・開催日：H28年10月29日（土）、30日（日）
- ・会場：丹波の森公苑

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
来場者数 (単年度)	—	—	40,000人	—

※H28年度単年度事業

○丹波地域ビジョンの推進（1,944千円）

H23年10月に改訂した丹波地域ビジョン「みんなで丹波の森」の周知を図るとともに、地域課題に対応した丹波地域ビジョン委員会の自主的な活動を支援することにより、ビジョンに掲げる将来像実現のための取り組みを推進する。

- ・ビジョン実現に向けた実践活動の推進
- ・ビジョン委員交流会の開催
- ・丹波地域ビジョン委員会情報誌の発行

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
丹波地域ビジョンに係る指標のうち上向き項目の割合	49.6% (H27年度)	50%以上	50%以上	50%以上

○丹波ふるさとの森づくりプロジェクト（5,500千円）

地域住民や実需者による地域の伝統、文化、産業、観光のニーズに応じた森づくり活動を支援する。また、NPO法人による木の駅プロジェクトにバイオマス用の丹波材の供給を支援し、丹波地域の健全な森林の育成と木材利用を推進する。

- ・丹波ふるさとの森づくり活動事業：計画策定、森づくり・交流活動等への支援
- ・森林林業関係NPO法人への支援：計画策定支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
箇所数 (単年度)	—	2箇所 2箇所	2箇所	—

○丹波ファン「ふるさとむら」作戦（350千円）

丹波県民局管内で多く取組まれている都市農村交流活動について、活動診断・今後の活動の処方箋作りを通じて再活性化し、丹波ファンの呼び込みを拡大する。

- ・リピーター獲得講座の開催
- ・農林漁業祭等での都市住民へのPR・理解促進、PRリーフレットの作成

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
交流人口 (ボランティア人数)	2,000人 (H26年度)	2,100人	2,200人	2,200人

○地域間交流を活発にする道路整備の推進（27,060千円）

近隣地域との交流を支える道路の整備として、隣接する地域境界付近の道路狭隘区間の改善や、辺地地域における他地域との連絡道路を整備する。

- ・主要地方道三田後川上線：篠山市と三田市の境界までの未改良区間の狭隘部拡幅
- ・一般県道中山綾部線：丹波市と福知山市の境界までの未改良区間の待避所設置

○伝統的建造物群保存地区と連係した道路景観の整備（8,000千円）

国の伝統的建造物群保存地区に選定されている篠山城下町地区、篠山市福住地区へ来訪する観光客が容易にアクセスできるよう、道路案内標識の設置を行うとともに、アクセス道路の環境整備を拡充する。

- ・幹線道路主要地点への案内標識の設置
- ・伝建地区アクセス道路や周辺道路の街路樹、植栽等の環境整備

○JR 福知山線利便性向上対策の実施（1,500千円）

JR 福知山線は、定住化の促進、交流の活発化など今後の地域づくりに必要不可欠な社会基盤であることから、県、市、鉄道事業者等が連携し、利便性向上対策を推進する。

- ・マイレールウェイ意識の醸成：周遊バスの運行、「たんば鉄道の日」イベント実施等
- ・駅からウォークイベントの実施：管内の駅を起終点とするハイキングの実施

○学生等による地域貢献活動推進事業（1,160千円）

丹波地域で大学のフィールドワークに参加した経験のある学生などが、地域と連携して実施する自主的な地域貢献活動を支援することにより、学生等の活力や知恵、経験等を活かした地域活性化の取り組みをさらに発展させる。

- ・地域貢献活動への支援
- ・丹波地域大学連携フォーラムの開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
実施団体数 (単年度)	4団体 (H26年度)	5団体	5団体	5団体

○関西学院大学柏原スタジオの運営支援事業（1,000千円）

丹波市中心市街地活性化基本計画の推進にあたり、関西学院大学が㈱まちづくり柏原、丹波市、商工会、観光協会などと協働して実施する、学生のフィールドワークや住民との交流活動等の地域活性化に対する取り組みを支援する。

- ・活動主体：関西学院大学総合政策学部・法学部
- ・活動拠点：関西学院大学柏原スタジオ（丹波市柏原町柏原）

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
フィールドワーク 参加延人数 (単年度)	259人 (H26年度)	268人	268人	268人

ウ) 守りたい 支えたい ふるさと丹波 ～丹波地域の安全安心の向上～

【総括 KPI】

- ・住んでいる地域の災害に対する備えは以前より確かなものになっていると思う人の割合：60%以上 [H26：39.4%] (※「兵庫のゆたかさ指標」以下同じ)
- ・住んでいる地域は高齢者にも暮らしやすいと思う人の割合：50%以上 [H26：40.9%]
- ・住んでいる地域は治安が良く、安心して暮らせると思う人の割合：90%以上 [H26：86.0%]
- ・住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合：70%以上 [H26：66.2%]
- ・住んでいる地域をより良くしたり、盛り上げたりする活動に参加している人の割合：50%以上 [H26：46.0%]

【主な事業】

(1) 災害に強い地域づくり

○H26 年 8 月豪雨災害復旧・復興事業の推進

H26 年 8 月豪雨により被害を受けた公共土木施設や農地・農業用施設の復旧・復興事業を推進し、再度災害の防止と被災地域の早期かつ着実な復興を図る。

○防災情報活用研修等による地域防災力の充実強化 (1,760 千円)

H26 年 8 月豪雨災害の経験をふまえ、災害時に地域住民が自らの判断で適切な避難行動をとるため、インターネット上の防災情報の活用研修を開催する。また、阪神・淡路大震災の経験と教訓を子どもたちに継承する。

- ・自主防災組織（自治会）役員等を対象とする、防災情報活用研修会の開催
- ・「1.17 は忘れない」地域防災訓練等の実施

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
防災情報活用 研修会参加自 治会数(累計)		200 団体	335 団体	559 団体
	—	237 団体		

○丹波の田んぼダムの推進 (1,700 千円)

総合治水対策（流域対策）の一環である「水田を活用した雨水貯留（田んぼダム）」の啓発・普及を行ない、取組みの拡大を図る。

- ・現状調査：効果的な取組地域・モデル実施地区選択のための調査
- ・啓発事業：パンフレット作成、田んぼダム講習会の開催
- ・一筆排水柵設置支援：先導地区としてモデル地区を選定し、設置工事等を支援

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
田んぼダムに 取り組む面積 (単年度)		—	10ha	—
	—	—		

(2) 暮らしの安全安心の向上

○たんばの消費者力向上推進事業（300 千円）

高齢者、障害者、学生等の消費弱者への消費者力向上と消費弱者を見守る者への相談対応能力向上を推進することにより、丹波地域における消費者被害の防止を図る。

- ・ 出前講座等の開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
開催回数 (単年度)		20 回	20 回	20 回
	32 回 (H27 年度)	32 回		

○住民主体の介護予防・介護支援推進事業（1,781 千円）

高齢者が医療や介護を必要とする状態になることを防止するとともに、元気な前期高齢者が主体となり後期高齢者を支える仕組みづくりとして、住民主体の「いきいき百歳体操」等の実施地域の拡大・定着を支援する。さらに、地域住民が一定の介護知識や技術を習得することで、地域の介護力の底上げと若者層の地元回帰を図る。

- ・ 「いきいき百歳体操」地域拡大支援事業：

市が実施する地域リーダー養成研修会等への支援、新規実施団体への支援等

- ・ 「いきいき百歳体操」地域定着支援事業：

圏域交流会の開催、医療機関等からのリハビリ専門職員の派遣等

- ・ 「丹波地域介護支援サポーター」養成事業：

養成講座の開発、養成講座の開催(対象:いきいき百歳体操サポーター、高校生等)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
いき百歳体操等 実施団体数 (単年度)		25 箇所	85 箇所	200 箇所
	5 箇所 (H26 年度)	27 箇所		
介護支援サポ ーター養成数 (累計)		—	100 人	340 人
	—	—		

○地域医療を支える健康福祉ネットワークの推進（300 千円）

地域住民の医療を大切にす取組により、不要不急の受診抑制や住民と医療機関の信頼関係の向上などの成果が上がっていることから、引き続き取組を支援するとともに、今後の医療制度改革に向けて、H30 年度開院予定の新病院をはじめ、近隣地域の医療機関も含め医療体制の変化にスムーズに対応できるよう、さらなる地域医療への理解促進と活動の定着を図る。

- ・ 住民の地域医療への理解促進：

住民が医療の現状等について知る機会づくり、医療を守る協働事業の実施

- ・ 医療を守る丹波会議全体会・幹事会の開催

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
かかりつけ医 のいる割合		72.0%	74.0%	80.0%
	70.6% (H26 年度)	78.6%		

※ 「兵庫のゆたかさ指標」

○地域を守れ！たんば感染症予防プロジェクト（460 千円）

丹波市立看護専門学校と協働し、保育所や学校、高齢者施設等の職員が感染症予防に必要な知識や技術を習得する研修を実施するとともに、一般県民への予防啓発により、地域全体で感染症の発生を減らし、地域における小児や高齢者の救急医療の軽減を図る。

- ・ 集団施設職員のスキルアップ：

保育所、高齢者施設等職員研修、学校サーベイランスシステムスキルアップ研修等

- ・ 県民への情報提供：感染症予防啓発事業、感染症情報発信

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
スキルアップ 研修参加者数 (累計)	—	—	150 人	300 人

○こころとからだ、若者からの健康づくりの推進（594 千円）

精神性障害の発症や精神疾患と関係する自殺への対策として、若年世代からの精神疾患へのアプローチが重要であることから、若者のこころの健康課題への早期介入・早期支援を図り、精神疾患の予防、軽度化を目指す。

- ・ 高校生を対象としたこころの健康課題への早期介入・早期支援システムの構築：
実態調査、教員の資質向上研修、教職員等関係者向け対応マニュアル作成 等
- ・ アルコール健康障害への早期介入による健康づくり

医療・地域連携の強化、早期介入実践研修会の実施、支援者のスキルアップ 等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
教員等関係者 研修会参加者 数(累計)	—	30 人	90 人	180 人

(3) 魅力あるふるさとづくり

○丹波地域まちの自慢発信事業（180 千円）

地域創生を持続的に進めるためには、生まれ育った地域に愛着や誇りを持つふるさと意識の高い人材を育成することが重要であることから、現在小学校で行われているふるさと学習の成果を広く地域内外に発信し、ふるさと意識の醸成と地域の魅力発信を図る。

- ・ ふるさと学習の成果のとりまとめ
- ・ 学習成果の発信：パンフレットの作成・配布、報道発表

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
参加小学校数 (累計)	—	—	4 校	—

※H28 年度はモデル事業として実施

○不法投棄をさせない！きれいな丹波づくり（892 千円）

事業を開始した H25 年度以降、管内では 10 トン以上の不法投棄が発生していない等の効果が上がっていることから、取組を継続し、不法投棄の早期発見及び未然防止を図る。

- ・不法投棄防止講習会の開催と「丹波地域産業廃棄物適正処理ガイドブック」の活用
- ・不法投棄防止協力事業所登録制度の運用
- ・ボランティア不法投棄監視員による通報システム

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
不法投棄 発生件数 (10 トン以上)	0 件 (H26 年度)	0 件	0 件	0 件

○丹波の環境パートナーシップづくり事業（950 千円）

県、市、住民団体等関係主体が連携し、継続して活動できる仕組みとして H25 年度に設立した「丹波地域環境パートナーシップ会議」の活動をより活発化させ、管内における貴重な動植物の保全・再生意識の高揚、環境学習の推進を図る。

- ・住民参加型フォーラム 2016 の開催
- ・「守ろう！丹波の自然」体験型エコツアーの開催
- ・情報誌・Facebook の活用等による情報発信、交流促進
- ・環境学習プログラムの提供

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
環境学習プログラム（森・川のプログラム）の提供（単年度）	7 件 (H26 年度)	8 件	8 件	8 件

○交流促進パワーアップ事業（4,500 千円）

都市と丹波地域との交流による田舎暮らしの実践、少子対策の取組や環境保全活動など、地域団体等による主体的な活動を支援し、魅力ある丹波づくりを推進する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
採択件数 (累計)	17 件 (H27 年度)	25 件	50 件	125 件

○丹波の森若者塾（740 千円）

管内の県立高校生が、丹波地域に活動拠点を持つ大学の教員及び大学生のサポートを受けながら、自身の力でふるさとの魅力を発見できる研究・体験・交流活動を支援する。

- ・プログラム内容：各校が特色を活かした研究テーマを設定
- ・協力大学（予定）：関西大学、関西学院大学、神戸大学、兵庫県立大学

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度 (目標)	H28 年度 (目標)	H31 年度 (目標)
実施高校数 (単年度)	6 校 (H27 年度)	6 校	6 校	6 校

○シューベルティアードたんば「ふるさと音楽ひろば」の支援（750 千円）

音楽を通じた地域住民の交流の拡大を図り、子供たちと家族、地域住民等が、音楽家等とふれあい、音楽を楽しむ「ふるさと音楽ひろば」の開催を引き続き支援する。また、当音楽ひろばの出演者には丹波出身の若手音楽家等を起用し育成に寄与する。

- ・対象：小学生を中心とする子ども、家族、地域住民 等
- ・実施場所：学校施設等を活用
- ・内容：丹波地域出身若手音楽家等による演奏、音楽についての講話、音楽体験等

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
開催回数 (単年度)	10 回 (H26 年度)	10 回	10 回	10 回

(1) 人口対策

淡路島は豊かな自然や歴史、文化、食等に恵まれた国生みの島であるが、少子・高齢化や雇用の減少、後継者不足が進行している。また、島民特に若い世代が淡路島の良さを十分に知っている状況にはなく、高校卒業を機に島外に流出する傾向が続いている。

そのため、高校卒業者・島内出身大学卒業者の地元企業への就職や島外在住者のUJIターンを促進するだけでなく、島民へふるさと学習を進めることにより、島内企業や農業者の人材確保を支援するとともに、京阪神大都市圏に近接している立地を生かし、都市住民の転入促進を図る。

さらに、産業としての農畜水産業及び食関連産業の振興により雇用の創出を図る。

ア) 人口減少社会における新たな島民増加大作戦

【総括 KPI】

- ・地元企業への新規就職者数：月平均 185 人（10%増）[H26：月平均 168 人]
- ・農水産業従事者数
 - 認定農業者数：1,340 人 [H26：1,093 人]
 - 新規就農者数：年間 80 人確保 [H25：75 人]
 - 新規就漁業者数：年間 10 人確保 [H25：11 人]
- ・島外からの移住件数（「あわじ暮らし総合相談窓口」を利用）：50 件 [H26：30 件]
- ・ため池整備により安全・安心が向上した地域数：273 地域 [H25：187 地域]
- ・山地災害危険地区の施設の整備着手箇所数：229 か所 [H26：217 か所]
- ・漁港のストックマネジメント着手数：15 か所 [H25：13 か所]
- ・災害時の避難所と避難方法を知っている人の割合：
 - 62.3%（H26 全県平均）[H26：57.0%]
- ・家庭で災害に対する自主的な備えをしている人の割合：
 - 33.4%（H26 全県平均）[H26：30.2%]

【主な事業】

1 自然増対策

○淡路島独身男女出会いイベント支援事業（600千円）

晩婚化・未婚化の進行に対する取組として、民間団体が島内で開催する男女の出会いイベントを支援する。

○ワークライフバランスの啓蒙・啓発（300千円）

就業環境の近代化を促し、若者に選択されやすい企業スタイルを確立するため、ワークライフバランスの啓蒙・啓発セミナー等を行い、その意識を高める。

2 社会増対策

○企業立地の促進（238千円）

企業誘致の取組を進めるため国際フロンティア産業メッセへの出展を行う。

○地元企業への就職対策（324千円）

- ・求人合同説明会、就職面接会、地元企業の高校内企業説明会の開催
- ・近隣府県の大学への島内企業の求人情報、企業情報等の提供

○淡路ものづくり魅力発見ツアーの開催（138千円）

若年層へのものづくりへの関心を高めるため、小学生の親子によるものづくり企業訪問を実施。

○「淡路はたらくカタチ研究島」後継事業支援事業（3,600千円）

淡路島の地域資源を活かし、雇用の拡大と人材の育成を図るため実施してきた事業の一部を民間団体に引継ぎ、当該団体の運営等を支援する。

○ふるさと淡路島に帰って農業をしよう（Uターン就農）推進事業（910千円）

関係機関による実行委員会の設置・運営、講座開始等により、都会に出ている農家子弟のUターンを促す取組を推進し、農業生産基盤の維持や耕作放棄地等の防止を進める。

○淡路島農の担い手育成プロジェクト（1,200千円）

- 若手農業者や女性農業者を認定農業者へ誘導するとともに、農家子弟の就農支援や新規参入の受入れを進め、新規就農者を確保する。
 - ・認定農業者への技術研修
 - ・新規就農者へのコンサルの実施
- 農業者個々の経営安定をめざす地域の取組を支援する。
 - ・集落単位での組織化や法人化に向けた研修等を支援
- 淡路島らしい交流型農業を経営部門として位置づける取組を支援することにより、農業経営の向上を図る。
 - ・交流型農業にかかる協議会の設立・運営
 - ・新規作物導入実証ほの設置や実践農家マップの作成

○がんばる淡路島農業人支援事業（5,450千円）

担い手不足や就業者の高齢化等の課題に向け、新規就農者が定着し、産地の活性化による維持・発展のため、新規就農者の育成対策や経営を継承する農家子弟への支援を実施する。

- ・新規就農者受入体制整備事業
経営モデルの構築、農業機械リース料の支援
- ・新規就農者初期経営支援事業
空き施設の改修、簡易作業所の設置
- ・直売所等向け生産拡大支援事業
農産物の生産拡大や品質向上への取組への支援

○淡路島農と食の体験ツアーの開催（1,000千円）

農産物のブランド化や6次産業化等の取組現場の見学や農業体験のほか、あわじ環境未来島構想プロジェクト現場の視察ツアーを開催する。

3 都市住民の転入促進

○都市住民の転入促進事業（6,030千円）

県民局を中心に関係機関と連携する「あわじ島に住もう促進協議会」を設置し、空き家や耕作放棄地を活用したい意向を持つ地区住民の相談・支援機能を担うとともに、あわじ暮らしのワンストップ窓口の機能強化を行うことで交流・定住人口の増加を図る。

- ・あわじ暮らし総合相談窓口の運営

- あわじ暮らし情報を一元的に受発信するNPOにワンストップ窓口の運営を委託。
- ・あわじ島に住もう促進協議会の開催
受入地区への支援方策の検討、あわじ暮らし総合窓口との連携
 - ・「淡路の住みよさ」PR事業の推進
淡路の魅力情報、UJIターン実践例、定住支援策等のパンフレットを作成・配布。

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
島外からの 移住件数			200件 (50件/年)	
	H24～27 113件 (28件/年)			

4 安全・安心な島づくり

○「南海トラフ巨大地震対策」地域防災力の向上支援（5,780千円）

南海トラフ地震への備えに着実に取り組み、「津波災害からの死者ゼロ」を目指す。また、自助や共助による災害対応力を向上させ、地域全体の防災力を強化し、自然災害による被害の軽減（減災）を図るための取組を促進する。

- ・小中高校での防災教育への助成
- ・3市とともに防災訓練を実施
- ・防災講演会の開催

○津波防災インフラ整備計画の推進

南海トラフ地震への迅速かつ的確な対策を実施するため、「津波防災インフラ整備計画」に基づき、効果的かつ効率的な津波対策を計画的に推進する。

- ・重点整備地区（福良港、阿万港、沼島漁港、洲本地区）における対策事業の推進

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H35年度
浸水面積 (ha)	福良港	—	—	91ha
	119ha			
	阿万港	—	—	113ha
	194ha			
	沼島漁港	—	—	11ha 避難所(沼島小学校)の浸水を解消
	12ha			
洲本地区	—	—	13ha	
103ha				

○高潮・津波対策のための漁港整備

高潮浸水被害を防ぎ、津波被害を軽減する災害に強い漁業地域づくりに取り組む。

○漁業生産基盤の機能保全

水産資源の維持増大のための漁場整備や産地機能の強化などのために必要な施設整備を進める。

○農地海岸における防災対策の推進

農地海岸の侵食及び後背農地への越波を防ぐため、海岸の侵食調査や防潮堤の機能保全調査・対策を推進する。

○ため池貯留と田んぼダムによる総合治水対策の推進（7, 422千円）

- ため池が有する雨水の一時貯留機能を最大限発揮させるため、台風襲来前や非かんがい期に貯水位を低下させて下流域の洪水被害を軽減する。
 - ・ため池管理者への緊急情報発信システムの運用
 - ・治水効果の大きいため池の構造改築
- 水田での貯留を進める田んぼダムの取組を全島に展開する。
 - ・取組集落の情報発信
 - ・取組集落への支援、効果検証

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ため池事前放流 施設の整備箇所 数（箇所/年）		10 箇所	10 箇所	10 箇所
	7 箇所 (H26 年度)	21 箇所		
田んぼダム取組 集落数（集落/ 年）		3 集落	3 集落	3 集落
	0 集落 (H26 年度)	13 集落		

○淡路島ため池強靱化の推進（1, 250千円）

要改修や耐震性不備と判定されたため池の整備を進めるとともに、農業用の利用を行っていないため池の廃止や統廃合の計画策定を支援する。

○「淡路島ため池保全サポートセンター」の設置（4, 775千円）

対策が必要なため池が400箇所にのぼる見込みで短期間に整備することが困難なため、ため池管理者がより適正な日常管理や不具合箇所の補修等を行えるよう、管理の相談対応やパトロール、補修の現場技術指導など、ため池保全に関するサポート体制の充実を図る。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
ため池保全のサ ポート数 (箇所/年)		—	100 箇所	100 箇所
	—	—		

※ H28 年度新規事業

○放置竹林の拡大防止とその資源利用（1, 300千円）

放置竹林の拡大防止を進めるため、資源利用シニアサポーターやNPO法人等の活動への支援により、放置竹林の解消や資源活用につなげる。

○イノシシ被害対策の推進（3, 600千円）

集落単位での捕獲対策と被害防除を総合的に実施できる体制づくりを推進するとともに、妊娠期における一斉捕獲により効果的な個体数の低減を通じてイノシシ被害の軽減を図る。

○災害時における医療連携体制の充実・強化（260千円）

災害発生時に速やかに初動体制に入れるよう、健康福祉事務所(保健所)が「地域医療情報センター」として、災害拠点病院、医師会、広域消防、市等と連携した災害時救急医療体制の充実・強化を図る。

- ・災害拠点病院や医師会、消防等と連携した訓練の実施
- ・災害救急医療関係者等向け研修会の開催
- ・関係機関の連携体制確認のための「地域医療対策会議」準備会の開催

イ) 淡路人（あわじびと）意識醸成大作戦

【総括 KPI】

- ・住んでいる地域に誇りや愛着を感じる人の割合：
72.7%（全県1位）[H26：62.7%（県下7位）]

【主な事業】

1 ふるさと学習の推進

○「国生みの島」推進事業（1, 966千円）

「淡路学読本」を活用した講座の開催等により「国生みの島」への関心をより一層高め、島民自身が「国生みの島」の魅力を島内外へ情報発信できる取組を推進し、ふるさと意識の向上、醸成を図る。

- ・島内高校生向けの講座の開催
- ・高校卒業生徒への淡路学読本ダイジェスト版の配布
- ・島外に居住する島内出身者・団体等への啓蒙
- ・民間で取り組む「国生みの島」を普及啓発する事業への支援

○「国生みの島」発信事業～松帆銅鐸～（950千円）

南あわじ市松帆地区で発見された弥生時代の銅鐸を島内外にPRし、「国生みの島」淡路島のふるさと意識の醸成とともに、淡路島の認知度を上げて交流人口の増加、誘客促進を図る。

- ・銅鐸復元品の製作、展示
- ・銅鐸シリーズ講演会の開催

○淡路ふるさと学習の推進（1, 633千円）

小学校5・6年向けの「あわじ環境未来島副読本」「淡路ふるさと学習副読本」を活用し、ふるさと学習の進展を図る。

- ・学校の授業での使用
- ・体験学習の実施

○あわじ環境未来島構想の啓発推進（2, 624千円）

あわじ環境未来島構想をより推進するため、セミナーやホームページ等の様々な媒体で広く周知啓発を行い、島民自らが持続可能な地域づくりへ取り組む機運を醸成する。

○あわじ環境未来島副読本の活用（790千円）

小学生が淡路島の将来を考えるきっかけとなるよう、総合学習などの授業で副読本を活用する。

2 ふるさとづくりの推進

○淡路人形浄瑠璃の振興（5, 438千円）

淡路人形浄瑠璃を継承・発展させ、その魅力を広くPRするため、公演等の取組を進める。

- ・県内巡回公演：淡路人形座、後継者団体による公演
- ・後継者交流発表会：島内外の後継者団体が一堂に会する交流や公演
- ・体験教室：小学生が人形浄瑠璃を体験できる機会を提供
- ・普及啓発事業：伝統芸の保存発展のため常設公演団体を支援

○淡路島文化振興支援事業（1, 330千円）

民俗芸能等の歴史ある文化を次代に継承し、より一層の発展を促すとともに、文化の継承発展に寄与する事業への支援を行う。

- ・民俗芸能フェスティバル：伝統芸能、民俗芸能等のステージ発表
- ・芸術文化事業の振興：淡路文化協会創立40周年記念事業への支援

○「鳴門の渦潮」の世界遺産登録に向けた取組（3, 700千円）

渦潮の美しい自然を後世に伝え、さらには世界遺産登録に向けて調査研究、普及啓発、情報発信等の事業を実施する。

(2) 地域の元気づくり

淡路島は、自然、文化等が豊かでありながら大都市圏に近接し、アクセスも良く、さらに食のブランド化も進むなど観光地としての評価を得ている。

さらに、農畜水産業の基盤整備を進め、淡路島の強みである温暖な気候・風土に恵まれた農畜水産業をより一層活性化し、あわじ環境未来島構想が進む淡路島ならではの暮らしを持続することで、自然、食、スポーツ等を活かした観光振興による来島者を増加させるとともに住みやすい淡路島を目指す。

ア) 淡路島来訪者増加大作戦

【総括 KPI】

- ・淡路島への観光客入込数：11,748 千人 [H24：9,880 千人]
- ・海外輸出する品目数：10 品目 [H25：8 品目]
- ・地域団体商標（淡路島たまねぎ）の収穫量：100,000 t [H24：82,710 t]

【主な事業】

1 地域資源を活かした観光振興等による交流人口の増大

○誘客キャンペーン事業（18,080 千円）

淡路島名誉大使の桂文枝さんを起用した誘客キャンペーンを引き続き展開し、自然、景観、歴史、文化、食など多様で魅力的な淡路島の観光情報を島外に強力にアピールし、さらなる誘客の促進を図る。

- ・桂文枝さんによる淡路島誘客CMの制作・放送、ポスターの制作・掲示
- ・「淡路島文枝 100 選」の動画の制作・HPでの配信

(上段：目標、下段：実績)

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27 年度	H28 年度	H31 年度
淡路島への 観光客入込 数(千人/年)	9,880 千人 (H24 年度)	11,280 千人	11,748 千人	11,748 千人

○淡路島観光振興事業（2,500 千円）

淡路島観光協会等と連携して観光振興に取り組むことで、全島一体となった島の多様な資源を活かしたホスピタリティ豊かな観光地づくりを推進し、統一かつ効果的な誘客促進を図る。

○淡路島インバウンド対応推進事業（2,600 千円）

淡路島を訪れた方々が島内で快適に旅行できる環境整備を行うことにより、外国人観光客の淡路島への誘客を促進する。

- ・無料 Wi-Fi スポットの整備
- ・QR コードを活用した島内観光施設の案内
- ・ファムトリップの実施

○“御食国あわじ”島グルメラリーの実施（4,000 千円）

四季を通じた食の島御食国・淡路島の豊かな食材を使った島グルメを淡路島へ来て味わってもらおうグルメラリーを展開することにより、淡路島への誘客促進を図る。

- ・牛丼、生シラス丼等 6 種類の島グルメラリーの実施
- ・ラリー参加店等の情報を掲載するガイドブックの発行

○利用しやすい公共交通の維持・確保

- ・高速バスのIC化の促進（18,000千円）

淡路～神戸の重要な公共交通である高速バスにおいて、島内3市と協調してバスICカードシステム整備事業への上乗せ補助を実施し、早期導入への支援を行うことで、地域資源を活かした淡路島への来島者増加をめざす。

- ・「守り、育てる」地域公共交通（200千円）

島内の公共交通時刻表を網羅した「あわじ足ナビ」を島内3市、淡路島観光協会と協調して配布し、公共交通による島内観光地の周遊促進を図ることで、「守り、育てる」地域公共交通に努める。

○淡路交流の翼港の利活用促進（2,800千円）

観光交通の充実を図るため、翼港からの利用が見込めるツアーを支援する。

○サイクリングアイランドの推進（4,000千円）

「淡路島ロングライド150」の開催支援や、サイクリストの受け入れ環境の整備などの取組を進め、「サイクリングアイランド淡路」のイメージを定着させ、都市住民との交流の拡大と滞在型観光の需要の喚起を図り、地域の活性化に資する。

○淡路島の景観づくり運動の推進（1,475千円）

景観を通して淡路島の魅力を島内外に発信することにより、景観に対する意識の向上を図り、「住民主体の景観づくり」と「地域の活性化」をめざす。

- ・淡路島百景の普及（冊子の配布、パネル作成）
- ・交流イベント、講座の開催

2 淡路島ブランドの推進

○食のブランド「淡路島」推進戦略の展開（16,000千円）

農畜水産物・加工食品の生産・流通・消費、観光が一体となり食料生産拠点としての淡路島の魅力をより一層引き出し、淡路島産食材の消費拡大と島内での活性化を図るとともに、「食」「農」「観光」の連携による新たな淡路島の食文化を創造する。

- ・淡路島産食材こだわり宣言店の登録、PR
- ・食のイベント（オータムメッセ）の開催
- ・食のイベントへの支援
- ・商談会の開催
- ・島外での大規模商談会への出展

○「淡路島たまねぎ」ブランド力向上対策事業（300千円）

淡路島たまねぎの信用力確保を図るため、地域団体商標の管理強化対策の取組を行う。

○淡路島の野菜産地向上プロジェクト（4,100千円）

野菜主要5品目（たまねぎ・レタス・はくさい・キャベツ・トマト）の生産面積を拡大するため、機械化体系の推進による省力化とともに、生産安定技術の導入による品質向上の取組を支援する。

イ) 淡路島基幹・伝統産業活性化大作戦

【総括 KPI】

- ・淡路島いちじくの栽培面積：14ha [H21：5.9ha]
- ・兵庫県認証食品数（加工食品）：120 食品 [H26：87 食品]
- ・都市農村交流施設販売額：3,120 百万円 [H25：2,463 百万円]

【主な事業】

1 農畜水産物の振興と農畜水産物の価値向上

○「淡路島の花」産地力アップの推進（1,500千円）

ブランド確立をめざす取組により販売力の強化を図るとともに、品種導入や栽培管理方法の検討を行い、実需者のニーズに対応した産地づくりを推進する。

○淡路島いちじく作付面積倍増作戦の展開（772千円）

ブランド確立をめざす取組を推進し、さらなる産地規模の拡大を図り、6次産業化・農商工連携の取組を支援する。

○淡路和牛増頭対策の推進（2,400千円）

繁殖農家への支援により生産意欲を高める取組を推進し、淡路和牛の増頭を図る。

○淡路一水産の島再生プロジェクト（6,000千円）

漁業者自らが海の生産力回復を目的に行う取組を支援し、量販店等で「産地の見える化」と「食べ方の提案」を消費者に提供し淡路島の水産物の流通・消費の拡大を図るとともに、新たな増養殖技術の導入・実用化を推進し漁業経営の安定化をめざす。

・資源増大対策事業

漁業者自らが実施する環境改善や水産資源回復に資する活動支援

新たな増養殖技術の導入・実用化に向けた取組支援

・地域水産物販売強化対策

淡路島の魚の「産地の見える化」「食べ方の提案」等による消費拡大の取組推進と地産地消推進等の活動支援

○ため池交流保全の全島展開（1,600千円）

ため池の適正管理と豊かな海の再生を図るため、農業者と漁業者が交流・連携して行うため池の「かいぼり（池干し）」活動を推進するとともに、ため池の役割・魅力を次世代の子ども達や都市住民に伝え、多様な主体の参画によるため池交流保全を進める。

・農業者と漁業者の交流支援

・小学生へのため池教室の開催

2 6次産業化・農商工連携による新たな価値創出と需要の開拓

○農商工連携による淡路島ブランドの育成支援（636千円）

農商工連携による推進母体を設置し、新たな作物導入や新商品開発、販路開拓等を推進支援することによりネットワーク機能の強化やフードチェーンシステムを構築し、新しい淡路島ブランドの育成を支援する。

○淡路島農産物等加工支援事業の推進（700千円）

6次産業化への取組を加速するため、島内農林水産物を活用した新商品開発及び倉庫等の既存施設の加工場等への改修を支援する。

○起業・創業促進サポート事業（900千円）

小規模事業者の起業・創業に必要なイニシャルコストの一部や、創業間もない小規模事業者の運営経費の一部を支援することにより、島内での起業・創業を促進する。

3 農地・農業用水の条件整備

○ほ場整備事業の推進（500千円）

効率的・安定的な農業経営に向け、営農形態や地域実情に応じたほ場を整備する。

また、ほ場整備を契機として、地域への愛着を育て、ブランド化や6次産業化、都市農村交流、U J I ターンの取組の拡大など地域が主体となった魅力あるふるさとづくりを推進する。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
ほ場整備年度 面積(ha)	18ha (H26年度)	12ha	16ha	40ha

○多面的機能支払交付金の推進

農村地域の高齢化、人口減少等により、地域の共同活動等によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつあるため、農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動に対して支援する。

○農業用排水施設の保全

老朽化が進んでいる施設の補修や更新整備を進める。

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度 (目標)	H28年度 (目標)	H31年度(目 標)
基幹水利施設のストックマネジメント保全計画策定延長(km)(累計)	20km (H26年度)	21km	22km	25km

○広域農道（オニオンロード）の整備推進

農産物の流通ルートと、農村の生活環境基盤を一体的に整備する。

○和牛放牧を活用した耕作放棄地の拡大防止（2,000千円）

耕作放棄地の面積が急速に拡大する傾向にあるため、集落と放牧希望農家とのマッチングを図り、集落営農組織等による耕作放棄地への和牛の放牧・舌刈りを進めることにより、耕作放棄地の拡大防止に取り組む。

4 淡路ブランド製品の販売拡大支援

○食の拠点施設活用推進事業（1,000千円）

「あわじ島まるごと食の拠点施設」が機能を発揮し、淡路島産農畜水産物の消費拡大を図るため、四季ごとのPRイベントなどの取組を支援する。

5 淡路島伝統産業活性化支援

○地域産業魅力アップ支援事業（1,800千円）

厳しい経営環境にある地場産業の産地組合が実施する広報活動や地域の活性化に資する販売促進イベントなどの取組に対する支援、後継者育成のための支援を行い、淡路島における地場産業の活性化を図る。

ウ) 淡路らしいすこやかな暮らしの持続大作戦

【総括 KPI】

- ・エネルギー（電力）自給率：24% [H26：22%]
- ・全体として、今の生活に満足している人の割合：70% [H26：65.9%]

1 エネルギーの持続

○あわじ環境未来島構想推進事業（19,623千円）

構想の実現に向け住民組織・NPO・企業・行政等の協同体により行われる先駆的・モデル的な取組を支援する。

○あわじ竹資源エネルギー化5か年計画の実施（51,258千円）

放置竹林の拡大を防止するため、竹を資源として活用し、淡路島独特の再生可能エネルギーを創出し、継続的な利用を促進する。

- ・大型竹ボイラー導入支援
- ・竹資源活用エネルギー設備導入モニタリング
- ・竹資源活用エネルギー設備導入補助

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
竹チップ消費 量(トン)	10トン (H26年度)	40トン	90トン	500トン
		28トン		

○「EVアイランドあわじ」推進事業（6,835千円）

環境にやさしい電気自動車（EV）の幅広い活用方法等をPRし、全県に先駆けた電気自動車導入モデル地域として、「EVアイランドあわじ」を推進する。

- ・超小型EVの活用による普及促進
- ・EV用充電器設置箇所マップの作成

○あわじ菜の花エコプロジェクト推進事業（822千円）

「あわじ菜の花エコプロジェクト」を島民運動として推進し、島内における資源循環型社会モデルの構築を図る。

- ・菜の花種子の配布・栽培
- ・菜種油精製
- ・廃食用油回収
- ・BDFへの再生・利用

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
菜の花植栽 面積(ha)	45ha (H26年度)	47ha	48ha	50ha
		47ha		

○再生可能エネルギーによる地域元気づくりの推進（450千円）

農業水利施設等を活用した地域学習を進めることにより、環境問題に対する意識向上や地域の元気を創造する。

- ・地域資源マップの作成、まち歩き会の開催

2 生活の持続

○「地域再生大作戦」の展開

過疎化、高齢化の進展により地域の活力が失われつつある多自然地域等において、地域の再生、活性化を総合的に支援する。

○暮らしの持続チャレンジ団体助成事業（1, 000千円）

生活の質を重視したすこやかな暮らしづくりや新たな産業・雇用の創出、賑わいのあるまちづくりなど暮らしの持続につながる新たな取組にチャレンジするNPO法人等に対して支援を行う。

○あわじ全島ゴミゼロ運動の推進（1, 588千円）

環境立島淡路の実現のため、全島一斉清掃をはじめとする島民主体の活動をより一層推進し、住民の環境意識向上を図る取組を推進する。

- ・全島一斉清掃の実施（年2回）
- ・海岸漂着ごみのクリーンアップ活動

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
全島一斉清掃 参加者 (人/年)		67,500人/年	68,500人/年	70,000人/年
	67,049人/年 (H26年度)	68,070人/年		

○廃棄物の適正処理の推進（940千円）

地域住民団体や各市と連携して不法投棄を許さない地域づくりを推進するとともに、警察との連携により産業廃棄物の適正処理を推進する。

- ・不法投棄防止のための資材の提供
- ・自治会等との協定締結
- ・不適切な残土埋立の防止（土壌分析）

○生活排水適正処理の推進（2, 444千円）

島内3市と連携して設置した「淡路地域生活排水適正処理推進協議会」において、情報共有・対策検討を進め、県市一体となった対策を推進する。

- ・生活排水処理計画の見直し
- ・浄化槽台帳の整理
- ・浄化槽管理者への指導・啓発

KPI	目標設定の 起点(実績)	H27年度	H28年度	H31年度
生活排水処 理率(%)		77.0%	78.0%	80.0%
	75.7% (H25年度)			

3 健康長寿の島づくり

○健康長寿の地域づくりの支援（350千円）

いきいき百歳体操のさらなる拡大・定着に向け、啓発を進める。

○地域支援ネットワークづくり・住民主体の生活支援サービス提供システムの開発（100千円）

地域の実情にあった介護予防と軽度者に対する予防サービス、生活支援サービスが提供できるシステムを検討し、総合的・包括的なサービス提供体制を整備した住民主体の地域づくりの推進を図る。

○精神障害者が地域で当たり前暮らせるまちづくり（550千円）

ピアサポーターや支援を受ける当事者が仲間づくりを行う上で必要なセルフケア能力を高めるとともに、当事者のニーズにあう居場所づくりを地域住民や関係者ととともに支援する。

- ・ピアサポーターの派遣
- ・研修会の開催



【兵庫県 企画県民部 地域創生課】

住 所 : 〒650-8567 兵庫県神戸市中央区下山手通5丁目10番1号

電 話 : 078-362-4373 FAX : 078-362-3950

E-mail : chiikisousei@pref.hyogo.lg.jp HP : 「兵庫県」「地域創生」で検索